
上山市公共施設等総合管理計画

実施計画

令和元年 6 月

上山市

目 次

第1章 公共施設等総合管理計画実施計画について

はじめに	1
1 実施計画の目的と位置付け	2
2 施設類型別の評価手法と評価項目	2
3 施設類型別評価の適用と例外施設	3
4 立地のバランスについて	4
5 公共性の評価について	4
6 将来望まれる延床面積	4
7 各施設のあり方・方向性(令和7年度時点)	5
8 公共施設見直しの合意形成	5
9 廃止施設の有効活用	5
10 個別施設計画策定の検討体制とスケジュール	7
11 施設使用料等の見直しについて	7

第2章 各施設における今後の方針

1 集会施設	8
2 文化施設	13
3 図書館	15
4 博物館等	17
5 スポーツ施設	19
6 レクリエーション・観光施設	24
7 産業系施設	28
8 学校	30
9 その他教育施設	32
10 幼保・こども園	34
11 幼児・児童施設	37
12 高齢福祉施設	40
13 保健施設	42
14 医療施設	44
15 庁舎等	46
16 消防施設	49
17 その他行政系施設	54
18 公営住宅	56
19 公園	58
20 供給処理施設	60
21-1 その他(斎場)	62
21-2 その他(公衆便所)	64
21-3 その他(農林施設)	66
21-4 普通財産	68

第1章 公共施設等総合管理計画実施計画について

はじめに

本市で保有している公共施設等は、耐用年数が経過した施設や間もなく耐用年数が到来する施設が多く存在し、施設の老朽化による大規模修繕などの更新時期を迎えています。また、本市の人口は年々減少していることや少子高齢化の進行、世代構成や生活スタイルの変化により、施設に対する市民ニーズも変化しており、財政面においても施設の最適な保有量について再考すべき状況となっております。

このような状況の中、公共施設等の全体状況を把握し、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に実施することで、最適な公共施設等の管理を行うことを目的として、平成28年度から令和7年度までの10年間を期間とする「上山市公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定しました。

今回策定する実施計画は、施設の具体的な方針を示す個別施設計画の指針となる計画であり、「上山市公共施設等総合管理計画」に記載されている施設類型ごとの各施設について、計画の最終年度である令和7年度時点での施設のあり方を示したものです。

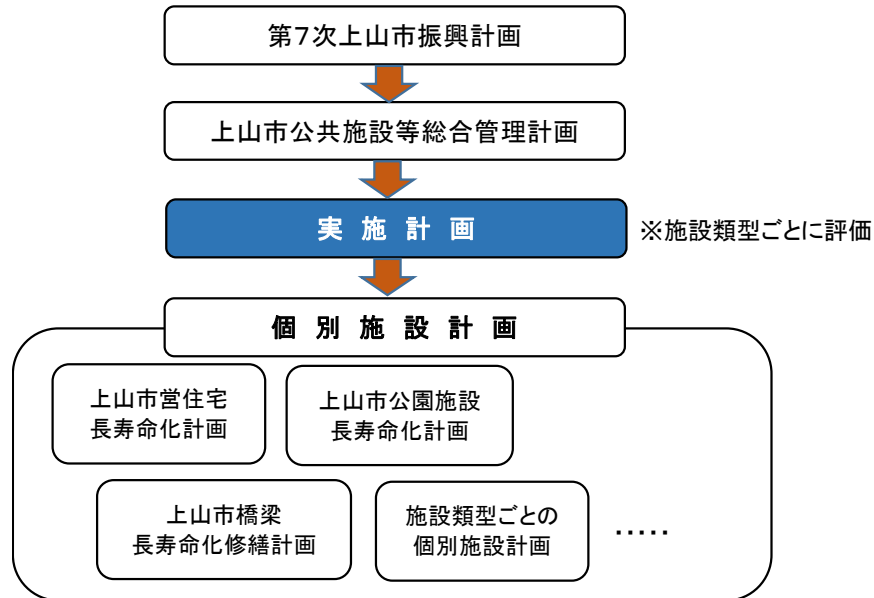
本計画を受けて、令和2年度までに施設類型ごとの各施設について、より具体的な個別施設計画を策定していきますが、施設の統廃合などこれまでの施設のあり方を大きく変える場合、当該施設の立地する地域や利用者の方々との意見交換等により、将来の施設のあり方や活用方法について決定していきます。

将来のまちづくりを見据えた施設のあるべき姿の実現に向けて、市民の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

上山市長 横 戸 長兵衛

1 実施計画の目的と位置付け

公共施設等総合管理計画は令和7年度までを計画期間として、各公共施設のあり方を個別施設計画として具体的に定めることにしています。実施計画は施設別の評価手法を用いて今後の施設のあり方について方向性を定めることにより、個別施設計画策定の指針とするものです。



2 施設類型別の評価手法と評価項目

統一的な施設評価とするため、下記の区分により偏差値化を行います。

(1) ハード指標

ハード指標は施設の「老朽化度」および「耐震性」で評価しています。2つの項目についてそれぞれ偏差値化し、合計の偏差値を算定しています。その際、評価項目について下記のとおり重み付けをしています。

※老朽化度：耐震性＝8：2

※老朽化度＝経過年数÷耐用年数

※偏差値が50未満の施設は、概ね耐用年数が経過した施設となります。

(2) ソフト指標

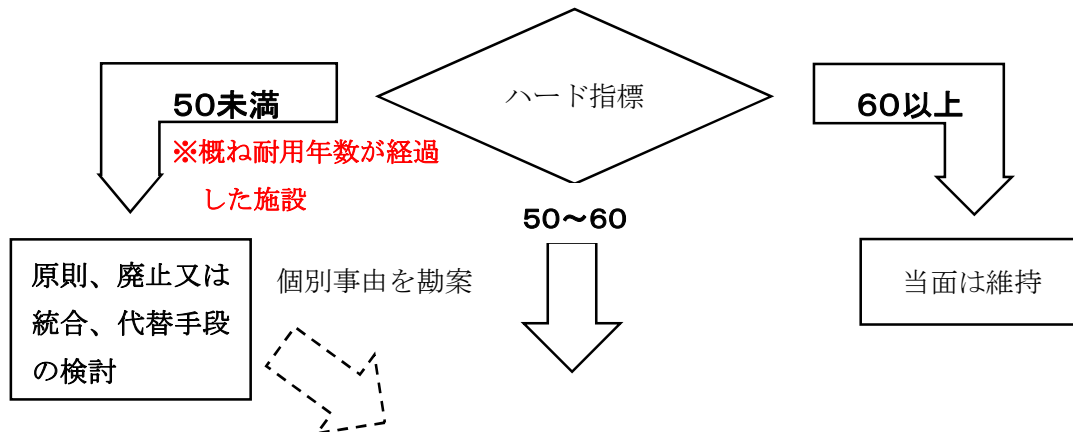
延床面積1㎡当たりのコスト（平成28年度決算）を偏差値化しています。なお、減価償却費を含めたフルコストにより算定しています。

※延床面積1㎡当たりのコスト＝フルコスト÷延床面積

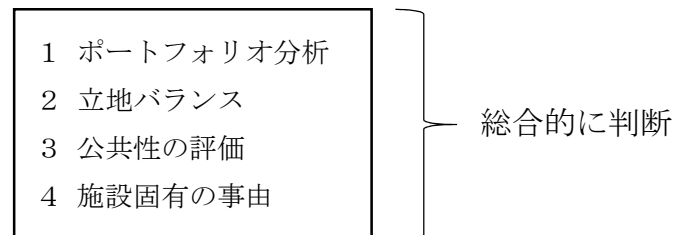
(3) 評価項目

- ア ポートフォリオ分析（ハード指標（老朽化度）・ソフト指標（コスト））
- イ 立地のバランス
- ウ 公共性の評価
- エ 施設固有の事由

【ステップ1】 ハード指標（老朽化度に耐震性を加味して偏差値化）



【ステップ2】

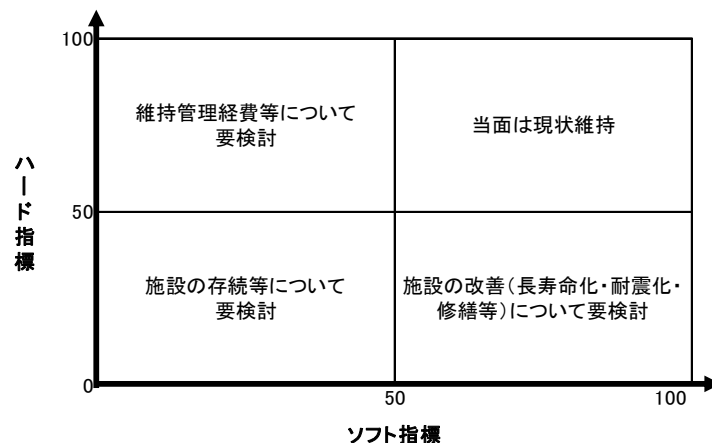


3 施設類型別評価の適用と例外施設

(1) 施設類型別評価により評価する施設（ポートフォリオ分析あり）

18分類 69施設

○ ポートフォリオ分析（ハード指標とソフト指標を4象限に展開）



(2) 施設類型別評価を適用しない施設（ポートフォリオ分析なし）

ア 普通財産	22施設	本来的に売却、貸付等を行うべき施設
イ 消防ポンプ庫	71施設	消防団再編計画（予定）の進捗に合わせて判断
ウ 文化財	11施設	存続を前提として維持管理手法を検討
エ 学校	8施設	「上山市立小・中学校統廃合実施計画（案）」に基づき判断

- オ 主たる施設が建物でない施設 15 施設
(プール、屋外運動場、キャンプ場等の施設)
- カ 建築年または耐用年数到来年度が不明な施設 2 施設
(集会施設のうち、まちづくりセンター、長屋門ギャラリー)
- キ 公園内の施設 10 施設 「上山市公園長寿命化計画」に基づき判断

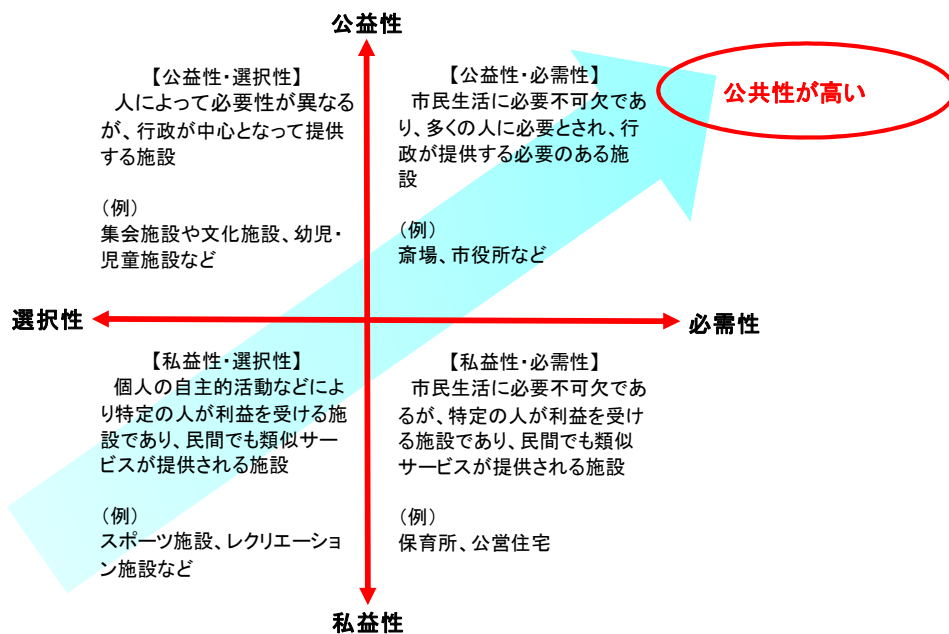
4 立地のバランスについて

施設の統廃合を検討するにあたり、代替施設が存在するかどうか、学区別に立地のバランスを考慮して判断していきます。

5 公共性の評価について

市で所有する公共施設の中には、斎場のように多くの市民が利益を受け、日常生活に欠くことができない施設や、体育館のように特定の市民が利益を受け、民間でも類似サービスの提供が可能な施設があります。

施設ごとの公益性や必需性について下記の視点により整理していきます。



6 将来望まれる延床面積

「上山市公共施設等総合管理計画」の中で試算された、計画期間内での削減が可能な更新費用・コストの縮減率 8.4% を、延床面積の縮減率として使用します。

	平成 28 年度			令和 7 年度
延床面積	139,589 m ²	縮減率△8.4%		127,863 m ²

※将来望まれる延床面積に向けて、11,726 m²の縮減を目指します。

7 各施設のあり方・方向性(令和7年度時点)

「令和7年度時点の施設のあり方・方向性」の見方は下記のとおりです。

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
△△△公民館	○							長寿命化
□□□体育館							○	

※現状維持：当面は現状を維持する施設（小規模な修繕も含む）

※長寿命化：大規模改修などの長寿命化工事を実施する施設（耐震化工事も含む）

※移譲：民間や地区へ移譲を検討する施設

※集約化：同一または類似の機能を持つ施設を合せて一つにする施設

※複合化：他の機能を持つ施設を合せて一つにする施設

※廃止：施設の統廃合などにより施設の機能を廃止、解体等を実施する施設（「市民等提案制度」を創設し、民間事業者等に移譲を検討する施設）

※令和8年度以降の考え方：上表の区分（現状維持、長寿命化、廃止など）を記入

「△△△公民館」は令和7年度までは現状維持としますが、令和8年度以降に長寿命化工事を予定している施設となります。

「□□□体育館」は令和7年度までに廃止を検討する施設となります。

※上記の区分はあくまでも令和7年度時点での施設のあり方を示すものであり、今後、関係者等と合意形成を図りながら決定していきます。

8 公共施設見直しの合意形成

施設の統廃合や移譲など、これまでの施設のあり方を大きく変える場合、利用者の理解が重要であることから、個別施設計画の策定過程において当該施設の立地する地域や利用者に十分な説明を行い、将来の施設のあり方について合意形成を図るものとします。

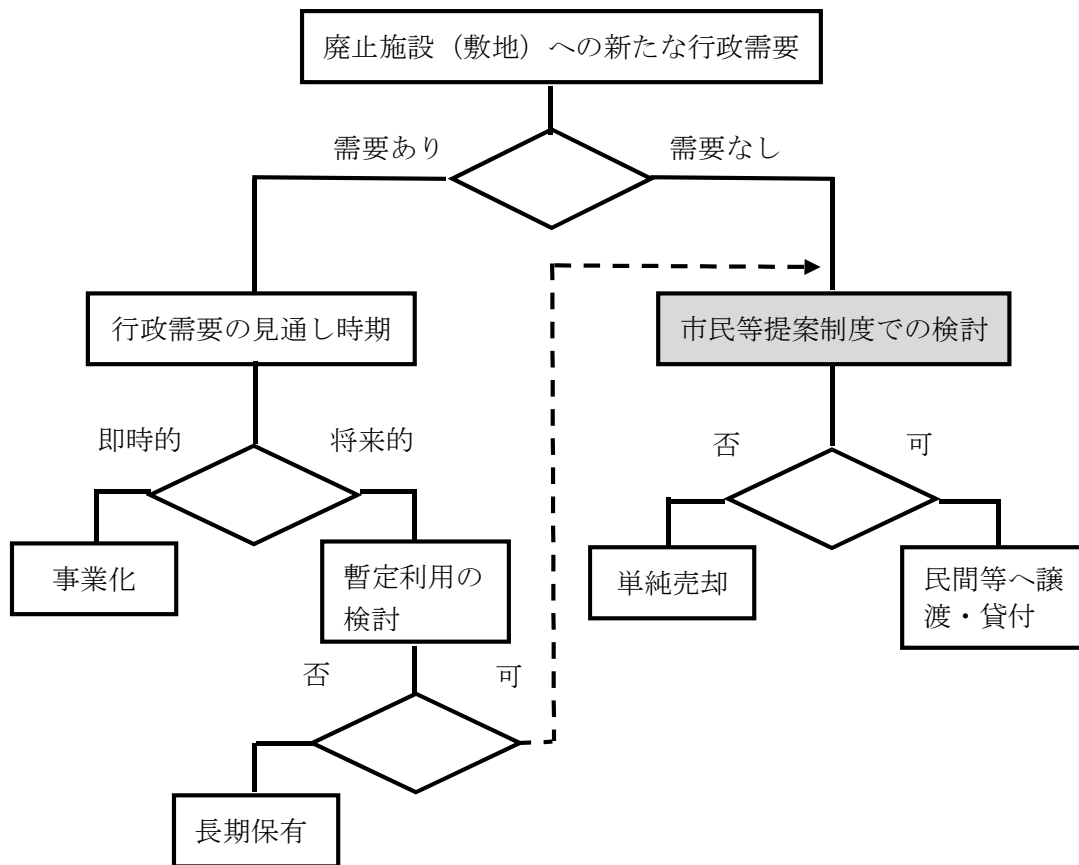
9 廃止施設の有効活用

（1）廃止施設の有効活用方針の策定

廃止する施設については、廃止後の有効活用と建物等解体経費の負担削減を図るため、「(仮称) 廃止施設の有効活用方針」を別途定め、「市民等提案制度」の創設などにより市有財産を民間事業者等に移譲し有効活用を図っていきます。

（2）(仮称) 廃止施設の有効活用方針の想定される内容

廃止施設（敷地）への新たな行政需要の有無の検討から、条件により次のとおり検討を進めていきます。



(3) 「市民等提案制度」の創設

ア 概要

自らが実施主体になろうとする市民や事業者から、市有財産の有効活用に係る提案を募集する。

「(仮称) 廃止施設の有効活用方針」の中で定める。

イ 対象施設のリスト化と公表

(ア) 行政需要の無い施設のリスト化

(イ) 公表内容

- ・所在地 ・登記面積 ・相続税路線価（固定資産税評価額）
- ・施設の現状 ・都市計画制限
- ・活用の方向性（都市マスタープラン等の整合性）

ウ 提案書に求めるもの

- ・事業内容 ・遂行体制 ・本市施策への貢献度
- ・事業効果見込み（本市施策への貢献度、市民生活等への効果）
- ・近隣住民との関係構築方法 ・市の経費負担の有無

財政効果の見込めないものは受け付けない。

建物がある場合、用地費より 解体費が上回れば、マイナス予定価格による入札も想定する。

エ 提案に対する審査内容

次の項目を総合的に評価する。

- ・提案項目の評価
- ・活用計画の実現性
- ・法令等との整合性
- ・個別施設での考慮すべき事項

オ 特定物件での試行実施

(ア) 先行事例の必要性

審査手法の確立、施設が所在する地域との合意形成が必要なことから、適切な先例を作る必要がある。

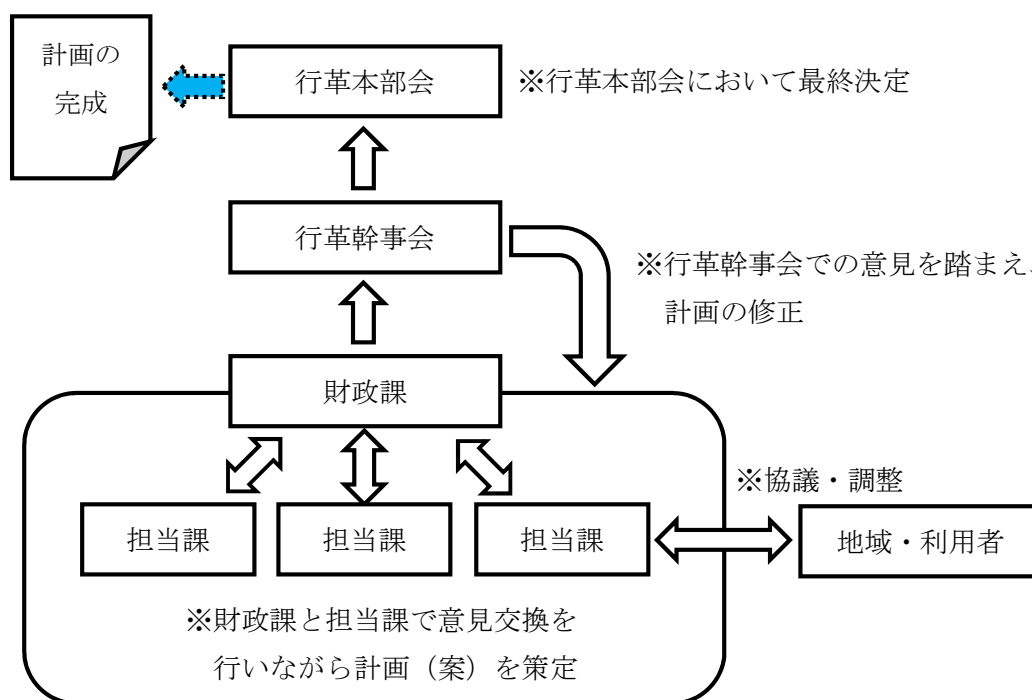
(イ) 事業候補

- ・元にし保育園 ・元勤労青少年ホーム ・働く婦人の家

10 個別施設計画策定の検討体制とスケジュール

(1) 検討体制

下記の体制により今後の施設のあり方について検討し、個別施設計画を策定していきます。



(2) スケジュール

上記の検討体制により、令和２年度までに施設類型ごとの個別施設計画を策定していきます。

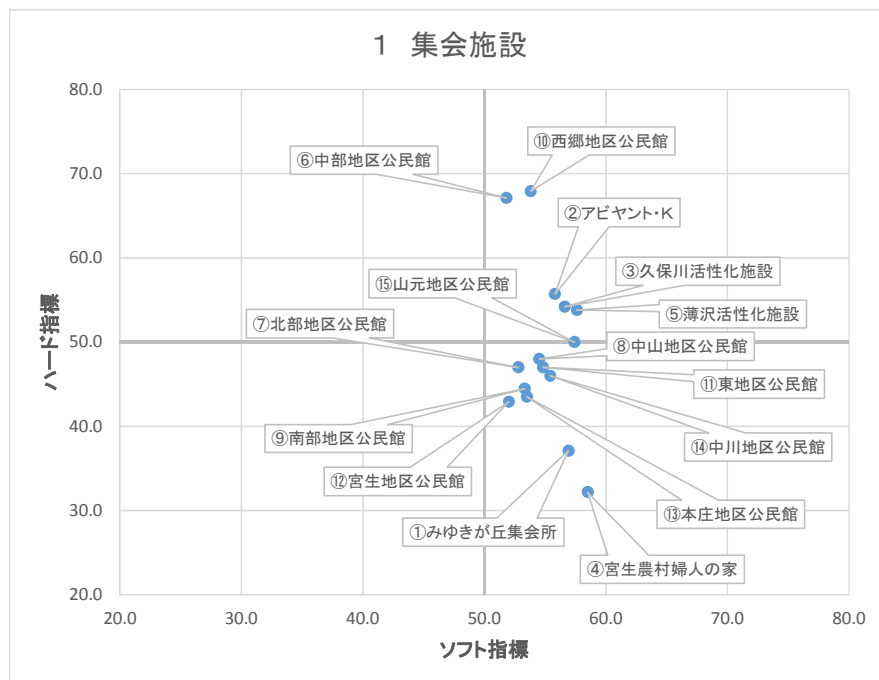
11 施設使用料等の見直しについて

施設利用の公共性、受益と負担の観点から使用料等の見直し（減免規定の見直しを含む）を進めていきます。

第2章 各施設における今後の方針

1 集会施設

(1) ポートフォリオ分析



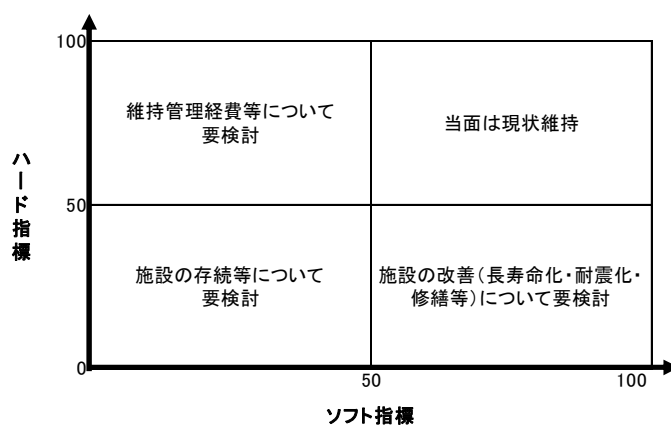
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①、⑥、⑦
南小	②、⑧、⑨
西一	⑩
宮川	③、④、⑪、⑫、⑬
中川	⑤、⑭
旧山元	⑮

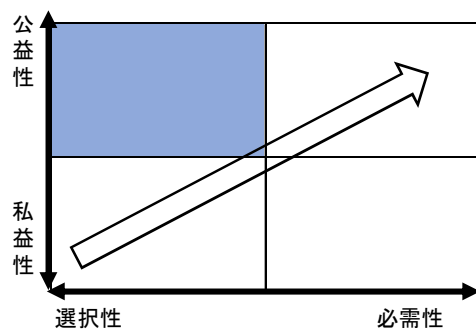
○ハード指標（老朽化度＋耐震性）

○ソフト指標（1㎡当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



集会施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

ソフト指標のばらつきは小さいが、ハード指標のばらつきが大きいため、ハード指標により各施設の優劣が評価できる。

イ 立地のバランス

学区別には、宮川小学区に多く立地している。

ウ 公共性の評価

集会施設は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

集会施設は地域の拠点であり各地区にとって必要な施設である。

オ 評価の総括

地区の集会所として利用されている施設については、地区への移譲を検討し、利用状況等によっては廃止も検討する。地区公民館については、現在、耐震化工事が進められているため、長寿命化を図りながら今後の対応を検討していく。

なお、集会施設は全体的に老朽化が進んでいるが、地域の拠点であることや避難所に指定されている施設もあることから、施設の維持を検討する場合は、安全性を確保する。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施 設 名	ハード指標	延床面積	廃止候補
西郷地区公民館	67.9	415.72	
中部地区公民館	67.1	871.04	
アビヤント・K (ふれあいホール)	55.7	1,249.70	
久保川活性化施設	54.2	130.84	
薄沢活性化施設	53.8	193.78	
山元地区公民館	50.0	2,316.84	
中山地区公民館	48.0	339.19	○
北部地区公民館	47.0	363.09	○
東地区公民館	47.0	395.79	○
中川地区公民館	46.0	384.15	○
南部地区公民館	44.5	608.34	○
本庄地区公民館	43.5	389.99	○
宮生地区公民館	42.9	403.01	○
みゆきが丘集会所	37.1	40.56	○
宮生農村婦人の家	32.2	303.07	○

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
西郷地区公民館	○							現状維持
中部地区公民館	○							現状維持
アビヤント・K (ふれあいホール)		○						現状維持
久保川活性化施設			○					
薄沢活性化施設			○					
山元地区公民館	○							現状維持
中山地区公民館	○							現状維持
北部地区公民館		○						現状維持
東地区公民館	○							現状維持
中川地区公民館	○							現状維持
南部地区公民館								※協議中
本庄地区公民館		○						現状維持
宮生地区公民館	○							現状維持
みゆきが丘集会所	○							現状維持
宮生農村婦人の家			○					

アビヤント・K（ふれあいホール）については、今後の有効活用について検討し、必要に応じて空調設備等の改修を行います。

久保川活性化施設、薄沢活性化施設、宮生農村婦人の家は、地区内での活動拠点となっており、現在も地区管理で運用されていることから、地区への移譲を検討していきます。

北部地区公民館、本庄地区公民館については、耐震化工事を実施していきます。

下記の施設は、本市以外が所有している施設であり、建築年または耐用年数到来年度が不明な施設です。

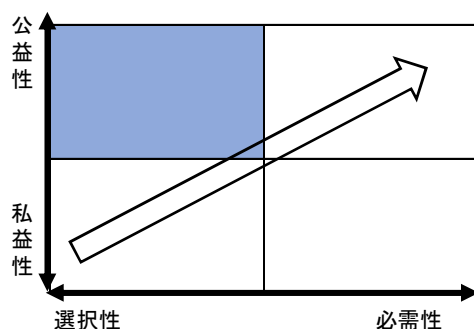
(1) 施設の状況

施設名	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	老朽化度 (%)	稼働率 (%)	延床 面積 (㎡)	再調達 価 額 (千円)	コスト (千円)	減 価 償却費 (千円)	収入 (千円)
①まちづくりセンター	M44	-	-	-	174	0	746	-	-
②長屋門ギャラリー	-	-	-	-	295.85	0	125	-	-

(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①、②
南小	
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

(3) 公共性の評価



集会施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア 立地のバランス

両施設とも上山小学区に立地している。

イ 公共性の評価

集会施設は公益性が高いエリアに分類される。

ウ 個別事由の勘案

まちづくりセンターは現在使用されていない。

エ 評価の総括

長屋門ギャラリーは、現在、市民活動発表の場として使用されており、今後のニーズを把握しながら検討していく必要がある。

（５）今後の方針

ア 令和７年度時点の施設のあり方・方向性

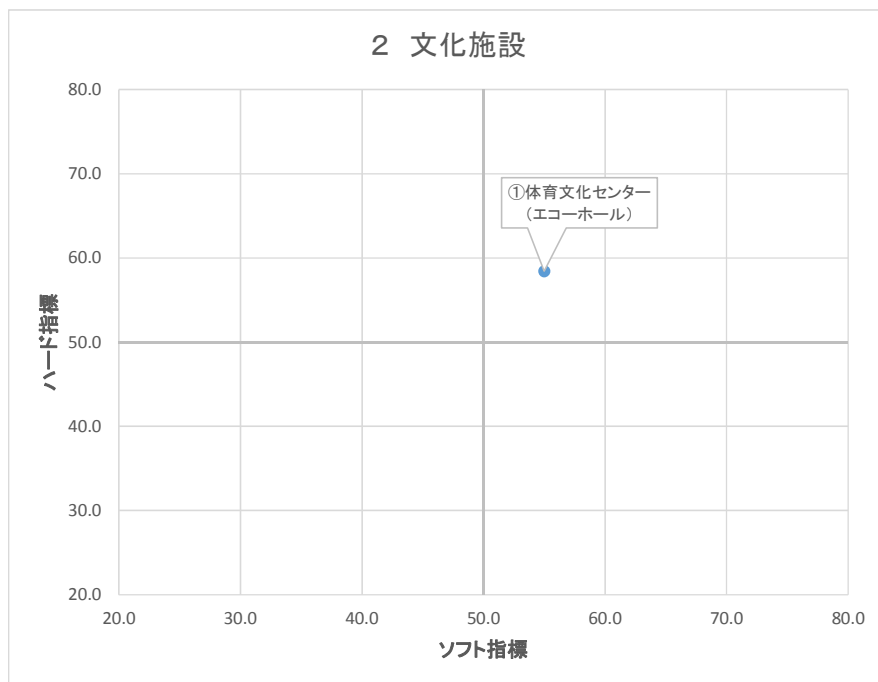
施 設 名	現状 維持	長寿 命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和８年度 以降の考え方
まちづくりセンター							○	
長屋門ギャラリー							○	

まちづくりセンターについては、平成３０年度より機能を市役所内に移転しています。

長屋門ギャラリーについては、老朽化が著しいことや耐震化も未実施であることから、利用者や所有者等と調整を図りながら廃止を検討していきます。

2 文化施設

(1) ポートフォリオ分析



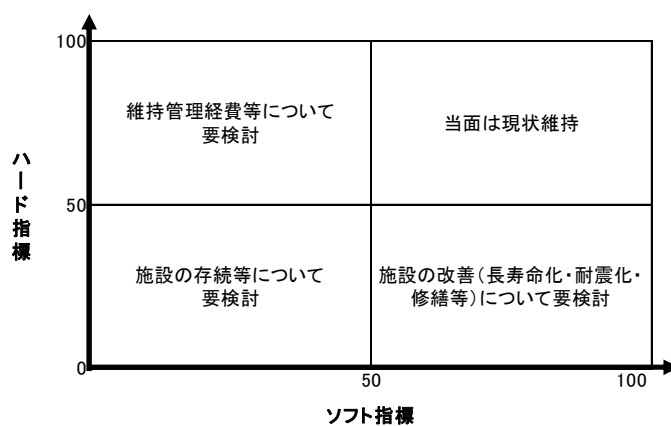
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	
南小	①
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

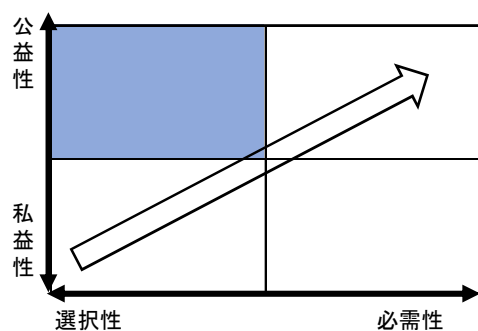
○ハード指標 (老朽化度+耐震性)

○ソフト指標 (1 m²当たりコスト)

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



文化施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

「当面は現状維持」の象限に位置している。

イ 立地のバランス

文化施設は市内 1 箇所のみに立地している（南小学区）。

ウ 公共性の評価

文化施設は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

文化施設は市内 1 施設のみである。

オ 評価の総括

市内に 1 施設のみであることや、両指標とも高いことから当面は現状維持とするが、外壁等改修工事の資本的支出が毎年度発生しており、その他の維持管理経費等のコスト削減を行うなど改善を図る。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
体育文化センター (エコーホール)	58.4	2,041.58	

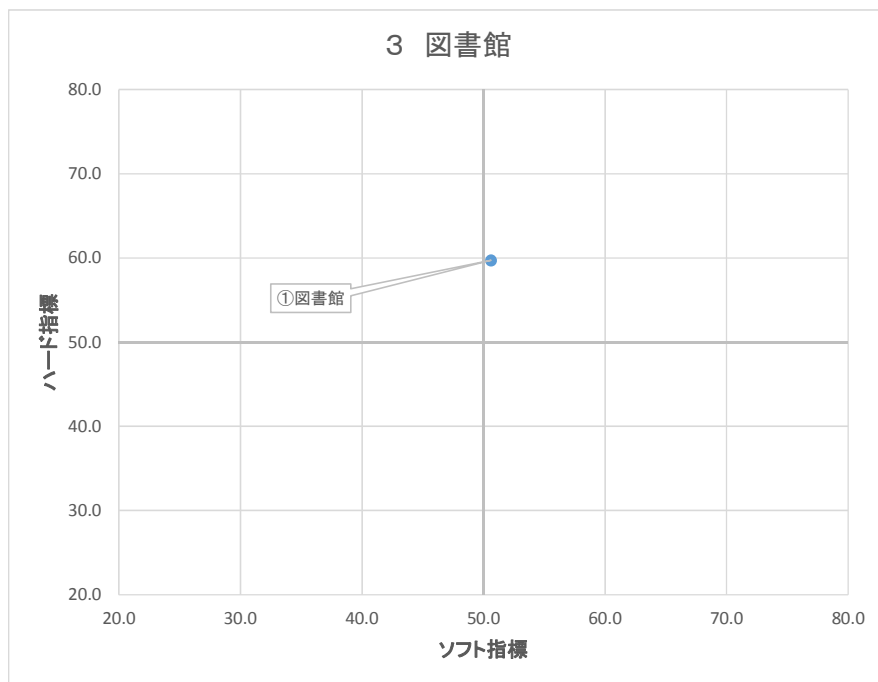
※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
体育文化センター (エコーホール)	○							現状維持

3 図書館

(1) ポートフォリオ分析

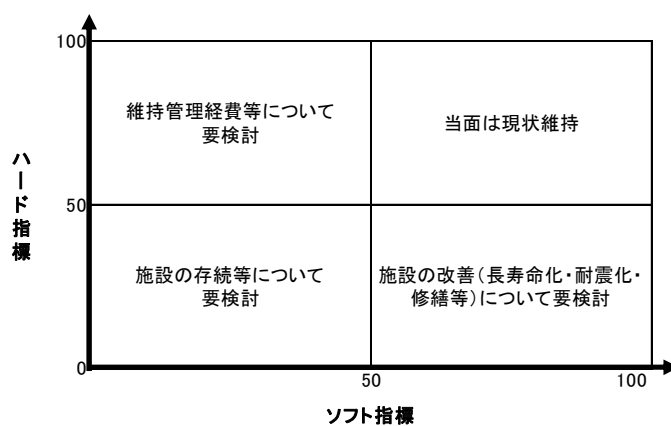


(2) 学区別立地状況

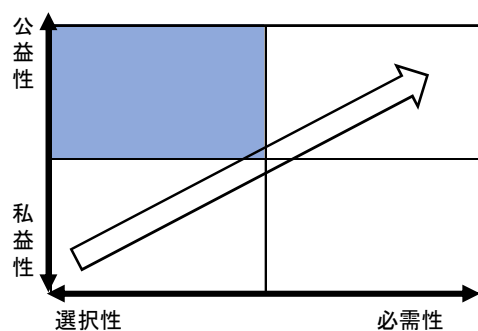
学区	施設番号
上小	
南小	①
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



図書館は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

「当面は現状維持」の象限に位置しているが、維持管理経費等のコストについて改善の余地がある。

イ 立地のバランス

図書館は市内 1 箇所のみに立地している（南小学区）。

ウ 公共性の評価

図書館は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

図書館は市内 1 施設のみである。

オ 評価の総括

市内に 1 施設のみであることや、ハード指標が高いことから当面は現状維持とするが、維持管理経費等のコスト削減を行うなど改善を図る。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
図書館	59.7	2,994.29	

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
図書館		○						現状維持

図書館については、二日町プラザ内の施設であり、二日町プラザと一体となって空調設備の改修を実施していきます。

4 博物館等

文化財等は、本市の歴史を現在に伝える貴重な文化遺産であることから、存続を前提として維持管理手法を検討していきます。

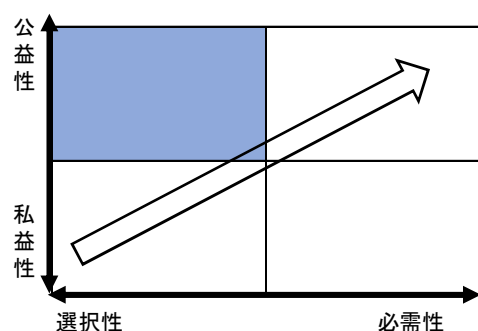
(1) 施設の状況

施設名	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	老朽化度 (%)	稼働率 (%)	延床 面積 (㎡)	再調達 価 額 (千円)	コスト (千円)	減 価 償却費 (千円)	収入 (千円)
①環翠亭	S56	H13	175.0	0.38	52.14	9,020	383	0	2
②旧金瓶学校	M02	M24	668.2	-	104.33	3,038	98	0	-
③武家屋敷旧曾我部家	M01	M23	672.7	5.62	135.53	115	1,165	0	21
④武家屋敷三輪家	M01	M23	656.1	0.41	157.01	1,971	3,129	0	806
⑤春雨庵	S30	S52	277.3	2.47	137.4	13,673	1,459	0	44
⑥重要文化財旧尾形家住宅	S44	H03	209.4	73.94	320.22	56,419	2,207	0	162
⑦櫓下宿旧武田家	H08	H30	89.8	-	152.49	71,791	852	0	-
⑧櫓下宿庄内屋(旧栗野家)	H09	H31	86.4	-	169.34	4,438	2,842	0	-
⑨櫓下宿大黒屋(旧栗野家)	H08	H30	83.2	-	188.59	69,596	887	0	-
⑩櫓下宿山田屋(旧齋藤家)	M18	M40	595.5	-	257.83	15,867	635	0	-
⑪櫓下宿脇本陣滝沢屋	H05	H27	103.0	-	250.89	51,628	2,996	0	218

(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①、②、③、④
南小	⑤
西一	
宮川	⑥、⑦、⑧、⑨、⑩、⑪
中川	
旧山元	

(3) 公共性の評価



博物館等は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア 立地のバランス

上山小学区および宮川小学区に多く立地している。

イ 公共性の評価

文化財等は公益性が高いエリアに分類される。

ウ 個別事由の勘案

文化財等は本市の歴史を現在に伝える貴重な文化遺産である。

エ 評価の総括

計画的な修繕による長寿命化等を検討するとともに、入館者数の動向を見極め、適切な管理運営を行う必要がある。

(5) 今後の方針

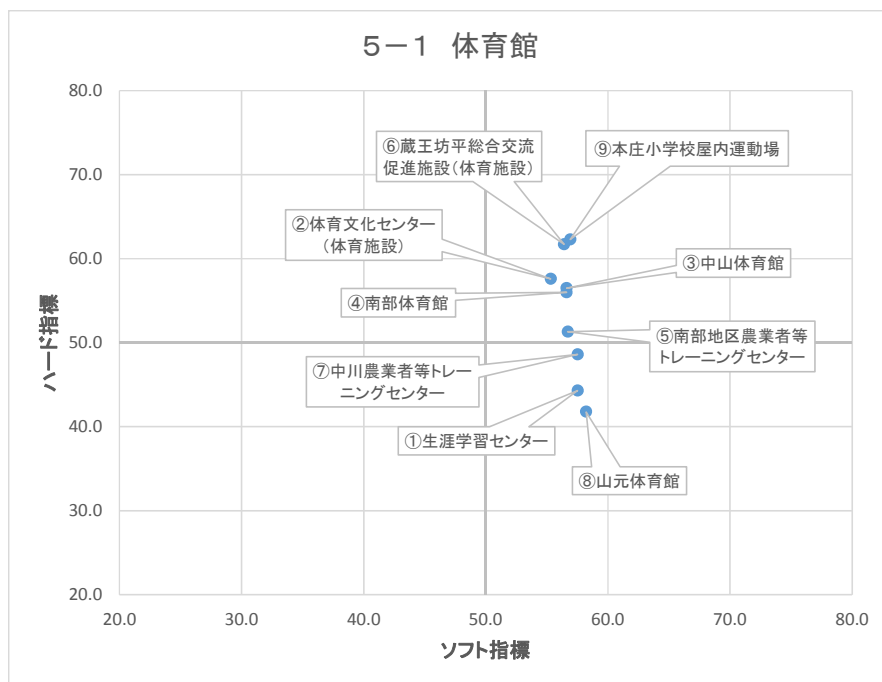
ア 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
環翠亭	○							現状維持
旧金瓶学校	○							現状維持
武家屋敷旧曾我部家	○							現状維持
武家屋敷三輪家	○							現状維持
春雨庵	○							現状維持
重要文化財旧尾形家住宅	○							現状維持
櫓下宿旧武田家	○							現状維持
櫓下宿庄内屋（旧栗野家）	○							現状維持
櫓下宿大黒屋（旧栗野家）	○							現状維持
櫓下宿山田屋（旧齋藤家）	○							現状維持
櫓下宿脇本陣滝沢屋	○							現状維持

旧金瓶学校、重要文化財旧尾形家住宅、櫓下宿脇本陣滝沢屋については、今後、展示照明のLED化を予定しています。

5 スポーツ施設

(1) ポートフォリオ分析



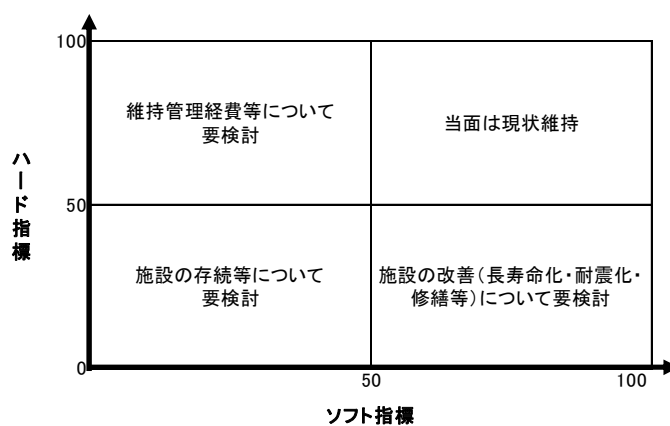
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①
南小	②、③
西一	④
宮川	⑤、⑨
中川	⑥、⑦
旧山元	⑧

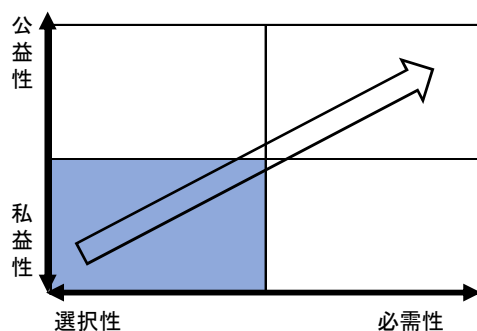
○ハード指標 (老朽化度+耐震性)

○ソフト指標 (1 m²当たりコスト)

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



スポーツ施設(体育館)は、一般的に「私益性・選択性」の高い施設に分類されます。利益を受けるのが個人で、民間でも類似サービスが提供されやすいエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

ソフト指標のばらつきは小さいが、ハード指標のばらつきが大きいため、ハード指標により各施設の優劣が評価できる。

イ 立地のバランス

学区別には均等に立地している中で、本庄小学校屋内運動場、南部体育館、南部地区農業者等トレーニングセンターが比較的小範囲に立地している。

ウ 公共性の評価

スポーツ施設（体育館）は、公益性が低いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

山元体育館については避難所としての機能を考慮した場合、代替施設がなく、地域住民にとって重要な施設である。

オ 評価の総括

個別事由を勘案し、人口減少に応じて老朽化の進んだ施設から廃止していく。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
本庄小学校屋内運動場	62.3	606.00	
蔵王坊平総合交流促進施設（体育施設）	61.7	981.08	
体育文化センター（体育施設）	57.6	8,762.07	
中山体育館	56.5	838.47	
南部体育館	56.0	1,030.54	
南部地区農業者等トレーニングセンター	51.3	932.13	
中川農業者等トレーニングセンター	48.6	769.53	○
生涯学習センター	44.3	2,554.89	○
山元体育館	41.8	402.00	○

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
本庄小学校屋内運動場	○							現状維持
蔵王坊平総合交流促進施設（体育施設）	○							現状維持
体育文化センター（体育施設）	○							現状維持
中山体育館	○							現状維持
南部体育館	○							現状維持
南部地区農業者等トレーニングセンター							○	
中川農業者等トレーニングセンター							○	
生涯学習センター	○							現状維持
山元体育館		○						現状維持

南部地区農業者等トレーニングセンター、中川農業者等トレーニングセンターについては、避難所としての機能も有しておりますが、近隣に代替となり得る学校体育館が存在するため、防災面に配慮しながら廃止を検討していきます。

山元体育館については、避難所としての機能を考慮した場合、代替となる施設が無いことから施設を維持していきます。なお、平成30年度に耐震診断を実施しており、結果に応じて耐震化工事を実施していきます。

下記の施設は、スポーツ施設のうち、主たる施設が建物でない施設です。プールおよび屋外運動場が該当します。

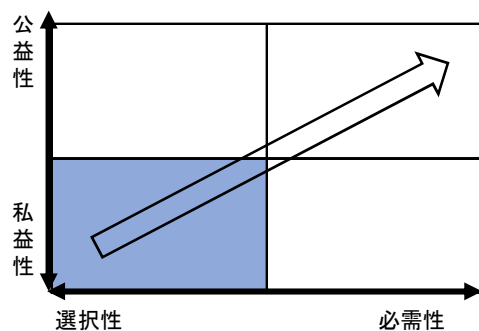
(1) 施設の状況

施設名	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	老朽化度 (%)	稼働率 (%)	延床 面積 (㎡)	再調達 価 額 (千円)	コスト (千円)	減 価 償却費 (千円)	収入 (千円)
①市民プール	S47	H31	93.6	-	158.65	21,277	8,453	468	505
②市民テニスコート	S58	H17	150.0	0.22	24.84	4,763	26	0	14
③市民馬術場	S63	H38	73.7	-	800	48,000	688	1,296	147
④市民多目的運動広場	-	-	-	12.4	-	-	177	-	39
⑤市民球場	S62	H49	58.0	12.66	634.09	267,593	7,566	5,351	752
⑥中山運動広場	-	-	-	6.69	-	-	124	-	15
⑦市民総合運動広場	H06	H44	57.9	42	127.8	37,595	16,121	1,015	2,653
⑧蔵王グリーングラウンド	H09	H31	54.0	10.89	286.37	187,709	6,514	2,831	209
⑨蔵王猿倉イベントパーク	S52	H11	148.8	1.47	59	25,601	2,898	478	31
⑩蔵王高原坊平クロス カントリーコース	-	-	-	21.43	-	-	7,777	-	361
⑪山元運動広場	-	-	-	6.94	-	-	113	-	25

(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	②、③、④
南小	①、⑤、⑥、⑦
西一	
宮川	
中川	⑧、⑨、⑩
旧山元	⑪

(3) 公共性の評価



スポーツ施設（プール・屋外運動場）は、一般的に「私益性・選択性」の高い施設に分類されます。利益を受けるのが個人で、民間でも類似サービスが提供されやすいエリアです。

(4) 評価の概要

ア 立地のバランス

西郷第一小学区および宮川小学区を除く各学区に均等に立地している。

イ 公共性の評価

スポーツ施設（プール・屋外運動場）は公益性が低いエリアに分類される。

ウ 個別事由の勘案

災害時等の臨時ヘリポートに指定されている施設も存在する。

エ 評価の総括

設備関係の更新経費を考慮するとともに、利用状況、利用者とコストのバランス、民間を含めた類似施設の配置状況、近隣市町村との広域的な観点等を考慮して、施設の集約化等を検討する必要がある。

(5) 今後の方針

ア 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

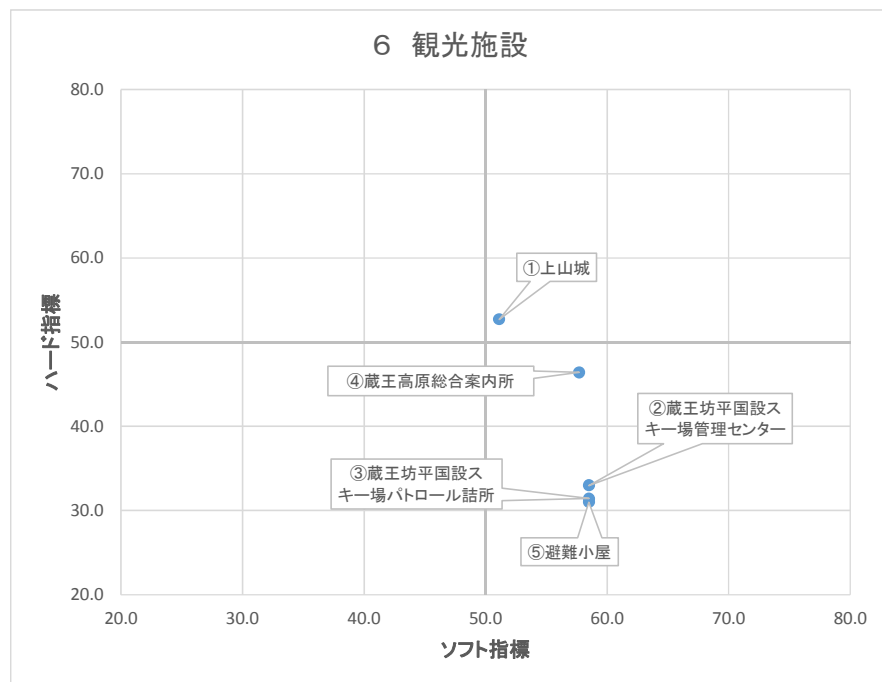
施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
市民プール							○	
市民テニスコート							○	
市民馬術場							○	
市民多目的運動広場							○	
市民球場	○							現状維持
中山運動広場	○							現状維持
市民総合運動広場	○							現状維持
蔵王グリーングラウンド	○							現状維持
蔵王猿倉イベントパーク	○							現状維持
蔵王高原坊平クロスカントリーコース	○							現状維持
山元運動広場	○							現状維持

市民プールについては、今後、排水設備やポンプ設備等の改修による多額の経費が見込まれており、廃止を検討していきます。

市民テニスコート、市民多目的運動広場については、廃止を検討していきます。なお、市民馬術場については、平成30年度に廃止しました。

6 レクリエーション・観光施設

(1) ポートフォリオ分析



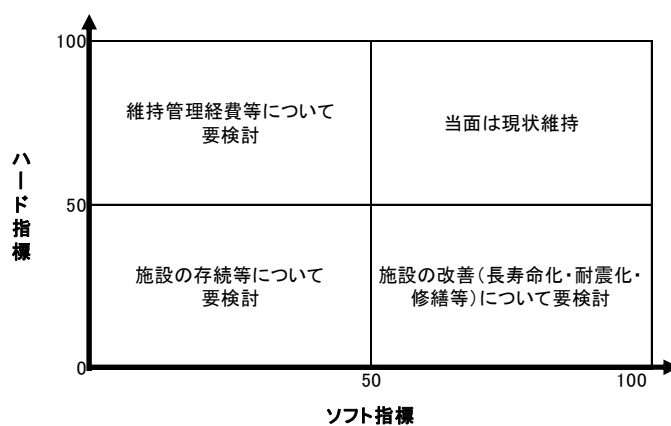
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①
南小	
西一	
宮川	
中川	②、③、④、⑤
旧山元	

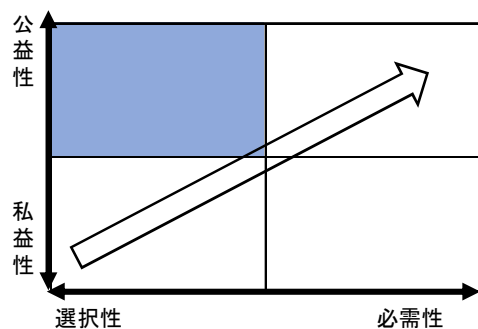
○ハード指標（老朽化度＋耐震性）

○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



観光施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

上山城を除く各施設のハード指標は平均を下回っており、老朽化が進んでいる。

イ 立地のバランス

蔵王坊平関連の施設が中川小学区に小範囲に立地している。

ウ 公共性の評価

観光施設は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

避難小屋は、登山客等の安全確保のために重要な施設である。

オ 評価の総括

使用されていない施設については廃止を検討する。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
上山城	52.7	2,756.96	
蔵王高原総合案内所	46.4	355.52	○
蔵王坊平国設スキー場管理センター	33.0	165.62	○
蔵王坊平国設スキー場パトロール詰所	31.4	12.12	○
避難小屋	31.0	13.76	○

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
上山城		○						現状維持
蔵王高原総合案内所							○	
蔵王坊平国設スキー場管理センター							○	
蔵王坊平国設スキー場パトロール詰所							○	
避難小屋		○						現状維持

上山城については、老朽化した空調設備の改修を実施していきます。

蔵王高原総合案内所については、案内所としての機能は果たしていないため、廃止を含めたあり方を検討していきます。併設されている車庫については除雪車が格納されているため、最小限の経費による建替を含めたあり方を検討して

いきます。

蔵王坊平国設スキー場管理センター、パトロール詰所については、令和元年度に解体を予定しています。

避難小屋については、老朽化が進んでおりますが、登山客等の安全確保のために必要な施設であり、必要に応じて長寿命化を実施していきます。

下記の施設は、レクリエーション・観光施設のうち、主たる施設が建物でない施設です。キャンプ場等が該当します。

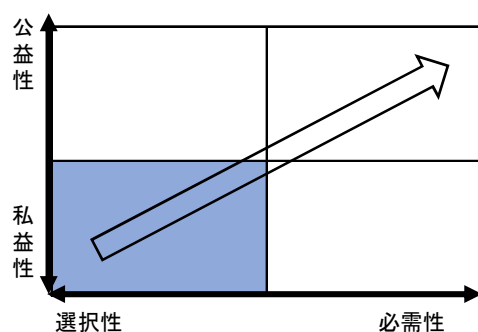
(1) 施設の状況

施設名	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	老朽化度 (%)	稼働率 (%)	延床 面積 (㎡)	再調達 価 額 (千円)	コスト (千円)	減 価 償却費 (千円)	収入 (千円)
①市民の森	H09	H26	111.8	-	3.31	937	-	0	-
②生活環境保全林	H09	H26	111.8	-	29.5	7,500	450	0	-
③三吉山森林公園	H19	H36	52.9	-	4	594	126	35	-
④蔵王坊平国設野営場	H07	H45	133.9	-	423.7	122,086	4,155	117	653

(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①、②
南小	③
西一	
宮川	
中川	④
旧山元	

(3) 公共性の評価



レクリエーション施設（キャンプ場等）は、一般的に「私益性・選択性」の高い施設に分類されます。利益を受けるのが個人で、民間でも類似サービスが提供されやすいエリアです。

(4) 評価の概要

ア 立地のバランス

上山小学区、南小学区、中川小学区にのみ立地している。

イ 公共性の評価

レクリエーション施設（キャンプ場等）は公益性が低いエリアに分類される。

ウ 個別事由の勘案

特になし。

エ 評価の総括

キャンプ場等については、行政が運営すべきものを再考し、利用状況やコスト、使用料等を勘案しながら検討していく必要がある。

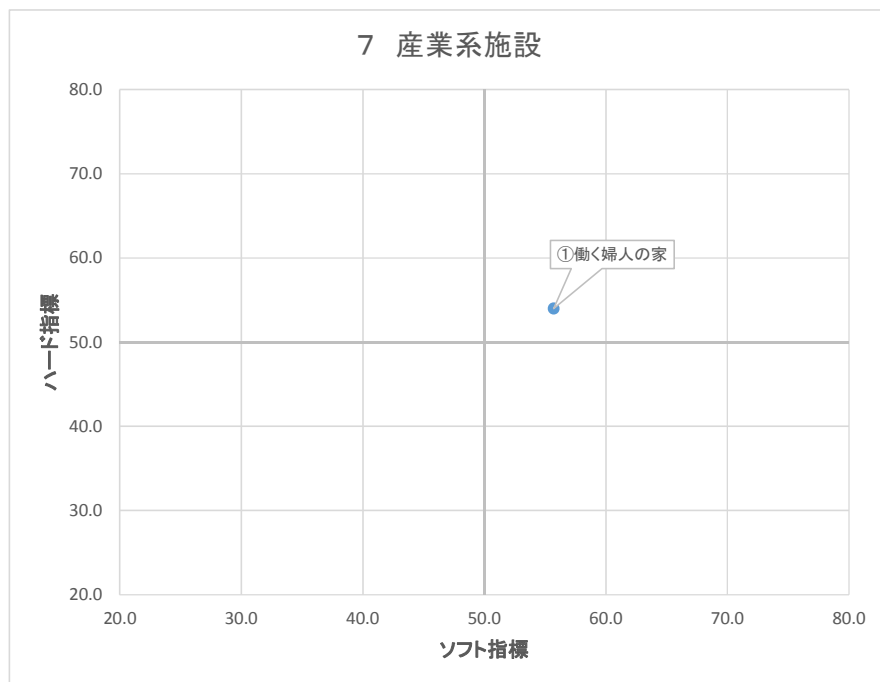
(5) 今後の方針

ア 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
市民の森	○							現状維持
生活環境保全林	○							現状維持
三吉山森林公園	○							現状維持
蔵王坊平国設野営場	○							現状維持

7 産業系施設

(1) ポートフォリオ分析

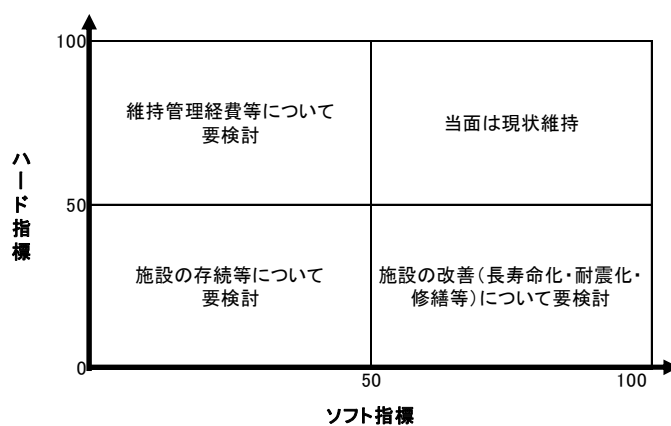


(2) 学区別立地状況

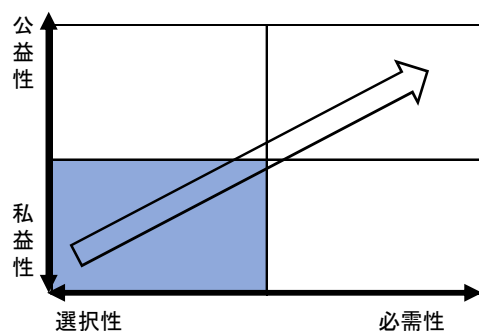
学区	施設番号
上小	①
南小	
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

○ハード指標（老朽化度＋耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



産業系施設は、一般的に「私益性・選択性」の高い施設に分類されます。利益を受けるのが個人で、民間でも類似サービスが提供されやすいエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

「当面は現状維持」の象限に位置している。

イ 立地のバランス

産業系施設は市内 1 箇所のみに立地している（上山小学区）。

ウ 公共性の評価

産業系施設は公益性が低いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

産業系施設は市内 1 施設のみであるが、近隣に類似施設として中部地区公民館が立地している。

オ 評価の総括

近隣に中部地区公民館が立地しており、当該施設の機能を中部地区公民館に集約することを検討する。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
働く婦人の家	54.0	821.03	

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
働く婦人の家							○	

働く婦人の家については、近隣の中部地区公民館等に機能を集約し、跡地の有効活用を含めて廃止を検討していきます。

8 学校

小・中学校については、「上山市立小・中学校統廃合実施計画（案）」に基づき統廃合を検討します。

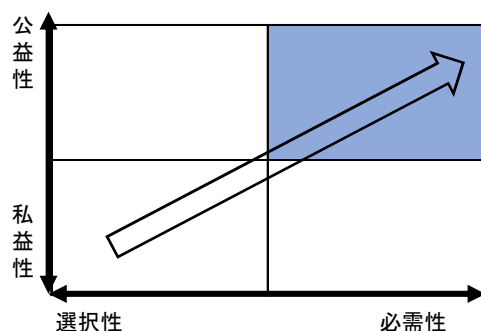
（１）施設の状況

施設名	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	老朽化度 (%)	稼働率 (%)	延床 面積 (㎡)	再調達 価 額 (千円)	コスト (千円)	減 価 償却費 (千円)	収入 (千円)
①上山小学校	H26	H73	14.7	-	7,343.88	2,851,616	42,352	48,821	109
②南小学校	S53	H37	81.2	-	11,477.00	2,641,259	57,710	55,328	11
③西郷第一小学校	H03	H50	69.0	-	2,633.00	430,782	18,195	6,887	-
④宮川小学校	S56	H40	66.2	-	2,773.48	704,099	20,653	17,330	-
⑤中川小学校	H05	H52	51.3	-	4,936.00	626,614	21,868	13,695	11
⑥南中学校	S35	H19	117.2	-	7,368.09	2,857,561	39,650	6,834	4
⑦宮川中学校	S34	H18	102.8	-	5,100.11	3,075,344	20,962	20,589	9
⑧北中学校	S47	H31	102.3	-	8,697.66	2,895,495	43,837	54,029	25

（２）学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①
南小	②、⑥
西一	③
宮川	④、⑦
中川	⑤、⑧
旧山元	

（３）公共性の評価



学校は、一般的に「公益性・必要性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受け、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア 立地のバランス

これまでも統廃合を行っている。

イ 公共性の評価

学校は公益性が高いエリアに分類される。

ウ 個別事由の勘案

学校は児童・生徒が日常的に使用する施設である。

エ 評価の総括

「上山市立小・中学校統廃合実施計画（案）」に基づき、今後の児童・生徒数の推移を見極めながら、地区・保護者等の意向を踏まえて統廃合を検討する必要がある。

(5) 今後の方針

ア 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
上山小学校	○							現状維持
南小学校		○						長寿命化
西郷第一小学校								※協議中
宮川小学校		○						長寿命化
中川小学校		○						長寿命化
南中学校		○						長寿命化
宮川中学校		○						長寿命化
北中学校		○						長寿命化

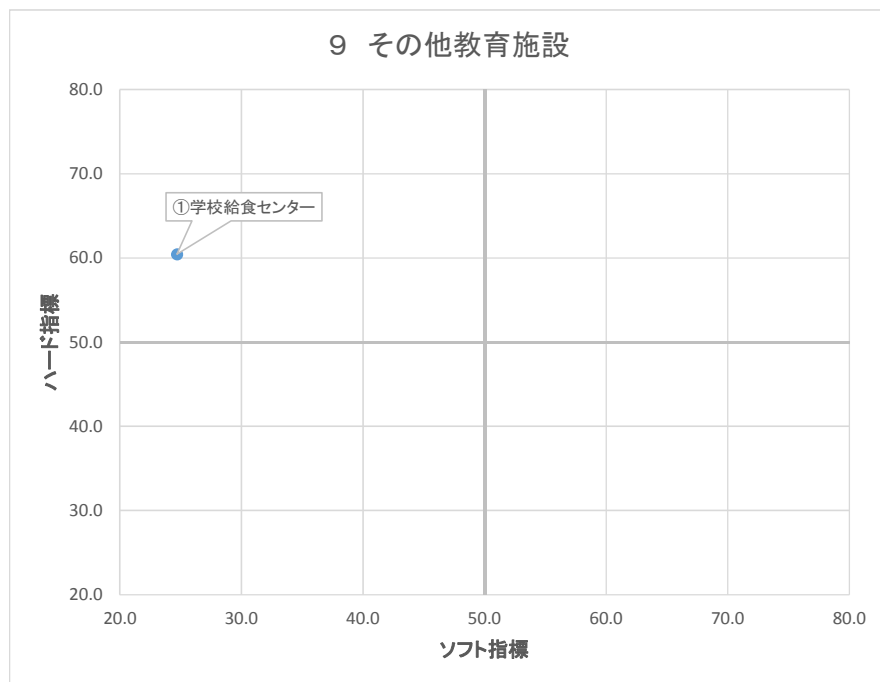
西郷第一小学校については、現在、存続・統廃合に係る検討委員会が組織され、地域主体で統廃合についての議論がなされています。

その他の学校についても、「上山市立小・中学校統廃合実施計画（案）」に基づき、今後の児童・生徒数の推移を見極めながら、地区・保護者等の意向を踏まえて統廃合を検討していきます。

また、耐震化工事の必要な施設については既に工事を実施したところではありますが、今後は、将来の財政負担の縮減のため、長寿命化工事（必要経費が過大となる場合は建替）を検討していきます。

9 その他教育施設

(1) ポートフォリオ分析



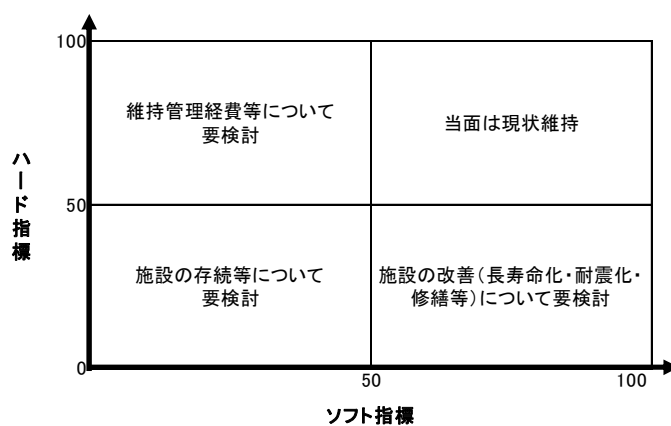
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	
南小	①
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

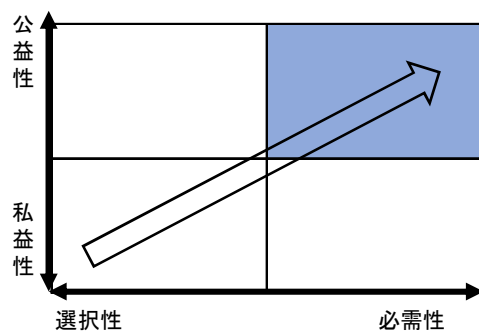
○ハード指標（老朽化度+耐震性）

○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



その他教育施設は、一般的に「公益性・必要性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受け、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

維持管理経費等のコストが大きくなっている。

イ 立地のバランス

給食センターは市内 1 箇所のみ立地している（南小学区）。

ウ 公共性の評価

給食センターは公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

給食センターは市内 1 施設のみである。

オ 評価の総括

ハード指標により当面は現状維持とするが、設備関係の老朽化が進んでいるため、計画的な設備の更新・修繕を行うとともに、維持管理経費等のコスト削減に努める必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
学校給食センター	60.4	1,332.39	

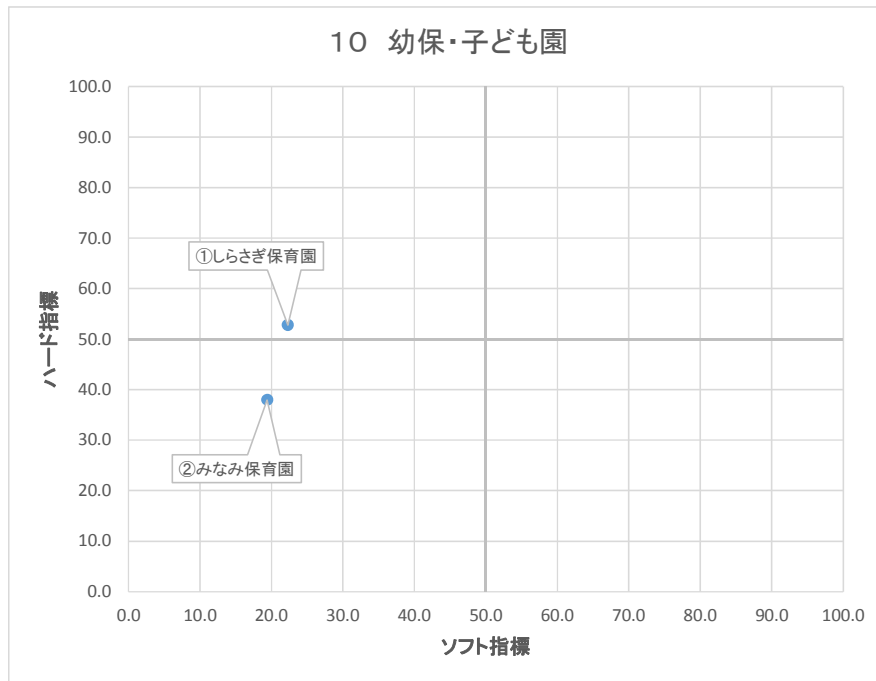
※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
学校給食センター	○							現状維持

10 幼保・こども園

(1) ポートフォリオ分析



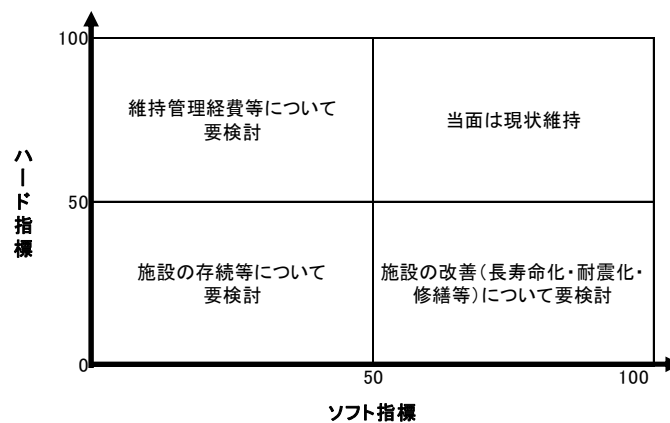
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	
南小	①、②
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

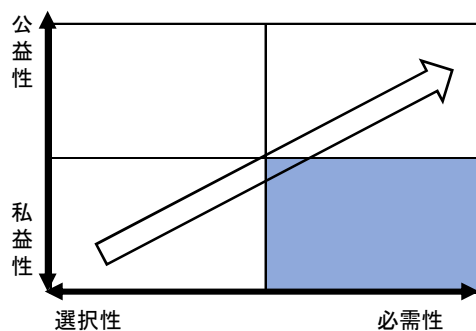
○ハード指標 (老朽化度+耐震性)

○ソフト指標 (1 m²当たりコスト)

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



保育施設は、一般的に「私益性・必要性」の高い施設に分類されます。利益を受けるのが個人ですが、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

ソフト指標のばらつきは小さいが、ハード指標のばらつきが大きいため、ハード指標により各施設の優劣が評価できる。

イ 立地のバランス

どちらの保育施設も南小学区に立地している。

ウ 公共性の評価

保育施設は公益性が低いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

両施設とも老朽化により、維持管理経費等のコストが大きくなっている。

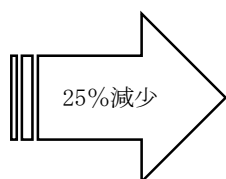
オ 評価の総括

保育児童が減少する中、今後の保育ニーズを見極めながら、施設の統廃合・民間移譲などによる規模の縮小を進め、適正な規模で施設を維持していく必要がある。

(5) 今後の方針

0～5歳人口の減少率から令和7年度の保育定員数を算定し、適正な施設の規模を検討する。

	平成27年10月 (市民生活課人口集計表)	平成30年9月 (市民生活課人口集計表)
0～5歳人口	1,116人	1,009人 (▲10%)
保育定員数	725人	744人 (+3%)



	令和7年度 (推計人口)
0～5歳人口	834人 (▲25%)

○人口減少は進んでいるが、女性の就業率向上、雇用情勢の改善により、共働き世帯が増え、保育ニーズ（特に0～2歳の低年齢児）が増加している。また、令和元年10月からの保育料無償化により、保育ニーズはさらに高まることが予想される

○適正な施設の規模は、令和元年度に策定する「子ども・子育て支援事業計画」の中で、今後の児童数及び保育ニーズを算出し設定する。

※人口と定員の差（約3割）については、①自宅保育、②届出保育施設、③市外保育施設の利用者

ア ハード指標による指針

施 設 名	ハード指標	延床面積	廃止候補
しらさぎ保育園	52.8	1,079.85	
みなみ保育園	38.0	859.52	○

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

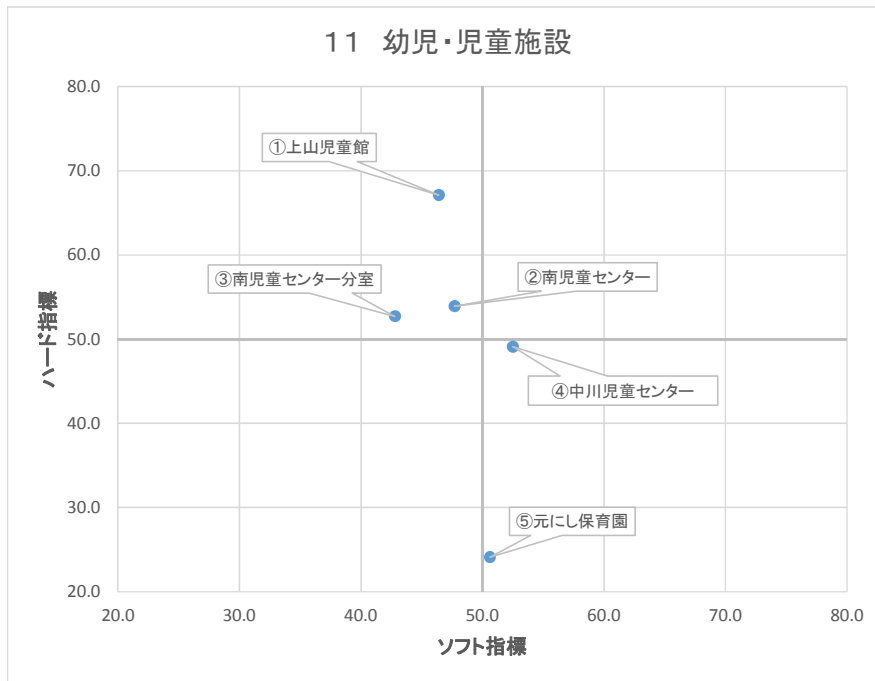
イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施 設 名	現状 維持	長寿 命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度 以降の考え方
しらさぎ保育園		○						1 施設に集約
みなみ保育園		○						

保育園については、令和元年度に策定する「子ども・子育て支援事業計画」の中で、今後の児童数及び保育ニーズを把握し、適正な施設の規模を設定していきます。適正な施設の規模を受けて、施設を集約する場所などを検討していきます。

11 幼児・児童施設

(1) ポートフォリオ分析

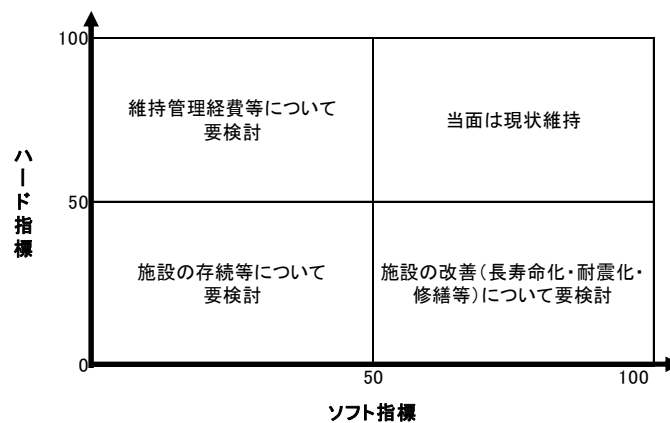


(2) 学区別立地状況

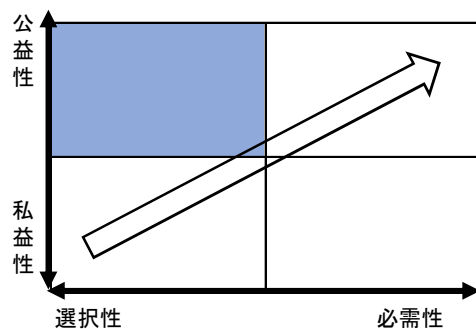
学区	施設番号
上小	①
南小	②、③、⑤
西一	
宮川	
中川	④
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



幼児・児童施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

各施設のばらつきが大きく、各施設でハード面やコスト面についての対策が必要である

イ 立地のバランス

南小学区に多く立地している。

ウ 公共性の評価

幼児・児童施設は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

元にし保育園については、現在使用されていない。

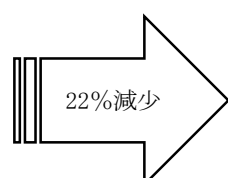
オ 評価の総括

児童数の減少に伴い、施設の統廃合などにより規模を縮小していく。
保育ニーズを見極めながら、現在使用されていない元にし保育園を廃止するなど適正な規模で施設を維持していく必要がある。

(5) 今後の方針

3～11歳人口の減少率から令和7年度の保育定員数を算定し、適正な施設の規模を検討する。

	平成27年10月 (市民生活課人口集計表)	平成30年9月 (市民生活課人口集計表)
3～11歳人口	1,916人	1,784人 (▲6.8%)
保育定員数	200人	235人 (17.5%)



	令和7年度 (推計人口)
3～11歳人口	1,488人 (▲22%)

○人口減少は進んでいるが、女性の就業率向上、雇用情勢の改善により、共働き世帯が増え、学童へのニーズ（特に小学校低学年）が増加。

○適正な施設の規模は、令和元年度に策定する「子ども・子育て支援事業計画」の中で、今後の児童数及び保育ニーズを算出し設定する。

ア ハード指標による指針

施 設 名	ハード指標	延床面積	廃止候補
上山児童館	67.1	300.00	
南児童センター	53.9	338.90	
南児童センター分室	52.7	177.48	
中川児童センター	49.1	523.33	○
元にし保育園	24.1	542.07	○

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

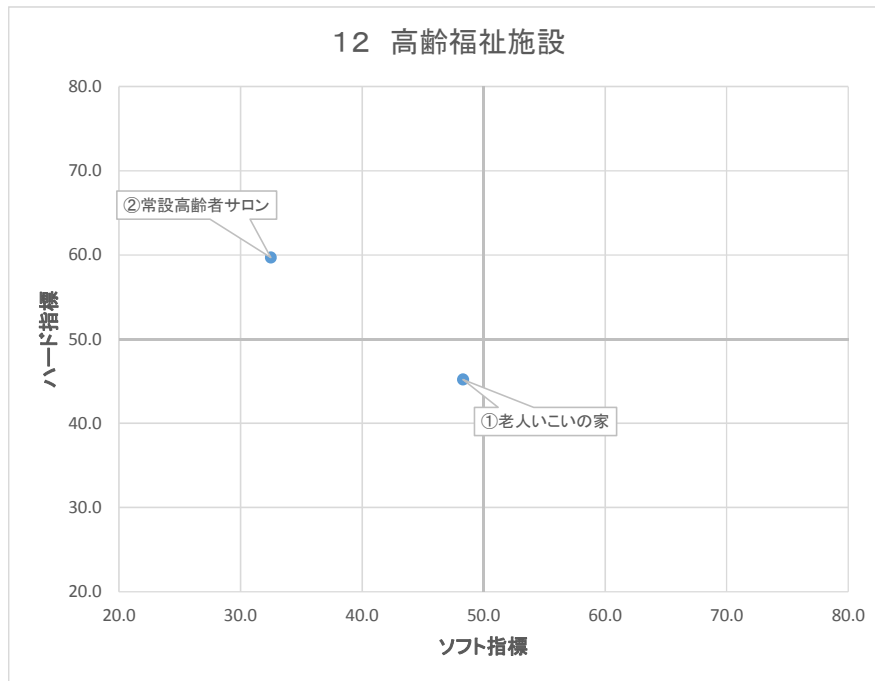
施 設 名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
上山児童館	○							現状維持
南児童センター				○			○	
南児童センター分室				○			○	
中川児童センター	○							現状維持
元にし保育園							○	

南児童センター、南児童センター分室については、学校施設の活用など集約化を検討していきます。

元にし保育園については、跡地の有効活用を含めて今後のあり方を検討していきます。

12 高齢福祉施設

(1) ポートフォリオ分析

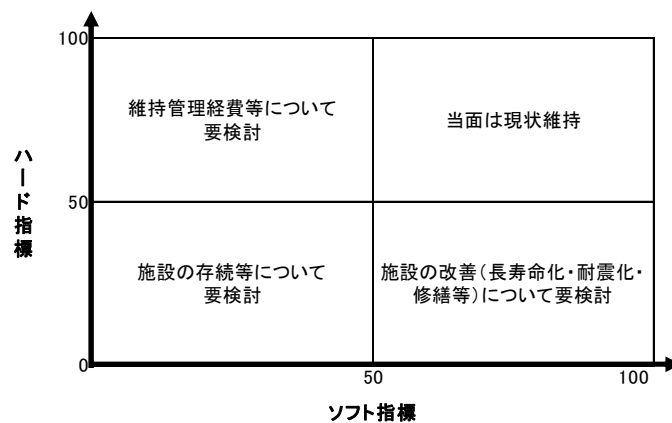


(2) 学区別立地状況

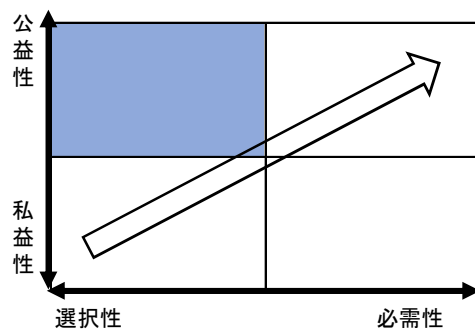
学区	施設番号
上小	①
南小	②
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



高齢福祉施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要な不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

両施設とも維持管理経費等のコスト削減が必要であるが、老人いこいの家については老朽化が進んでいる。

イ 立地のバランス

上山小・南小学区に立地している。

ウ 公共性の評価

高齢福祉施設は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

老人いこいの家は平成30年度に廃止する。

オ 評価の総括

平成30年度に老人いこいの家を廃止するため、常設高齢者サロンのみが残ることになる。そのため、常設高齢者サロンは、引き続き民間施設を利用しながら当面は維持していくが、コスト削減に努める必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
常設高齢者サロン	59.7	106.54	
老人いこいの家	45.2	280.07	○ (H30 廃止)

※廃止候補はハード指標50未満の施設が該当

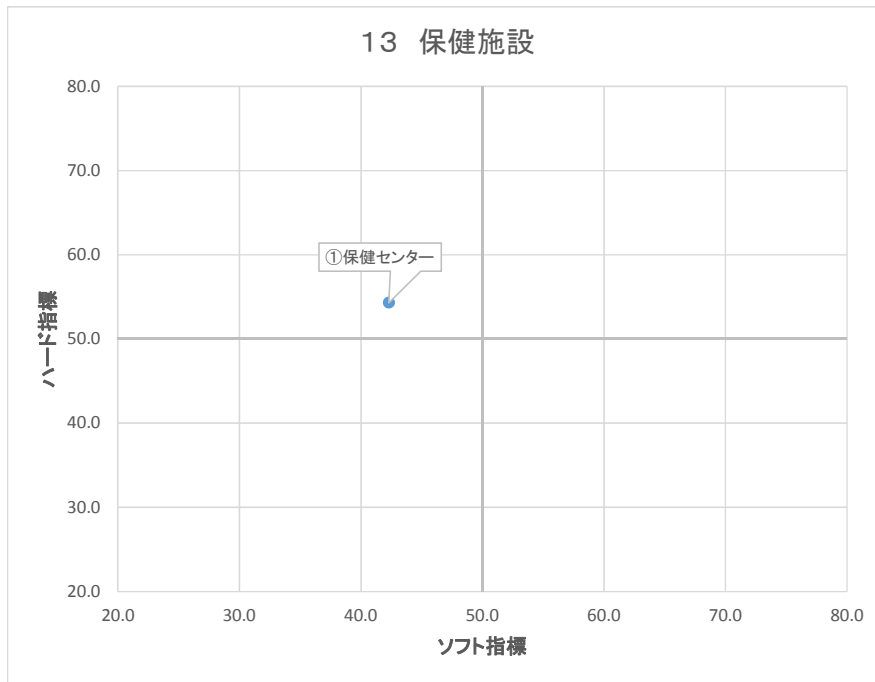
イ 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
常設高齢者サロン	○							現状維持
老人いこいの家							○	

老人いこいの家については、平成30年度に廃止しました。

13 保健施設

(1) ポートフォリオ分析

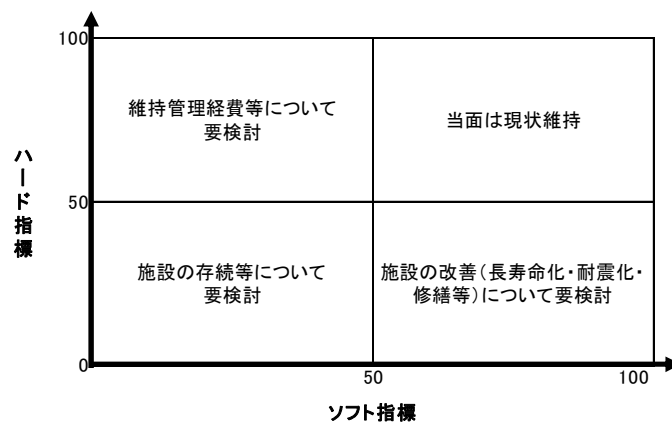


(2) 学区別立地状況

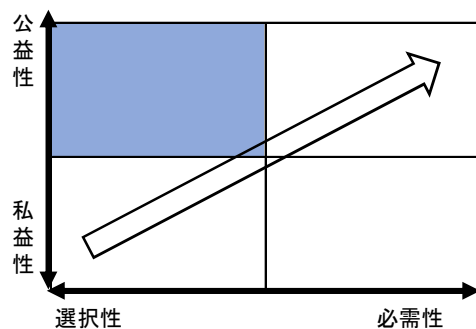
学区	施設番号
上小	
南小	①
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1㎡当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



保健施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

維持管理経費等のコストについて改善の余地がある。

イ 立地のバランス

保健センターは市内 1 箇所のみ立地している（南小学区）。

ウ 公共性の評価

保健センターは公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

保健センターは市内 1 施設のみである。

オ 評価の総括

市内に 1 施設のみであることや、現時点ではハード指標が平均を上回っていることから当面は現状維持とするが、各種設備の老朽化が進んでおり、施設の長寿命化のため計画的な修繕等を検討する必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
保健センター	54.3	1,050.00	

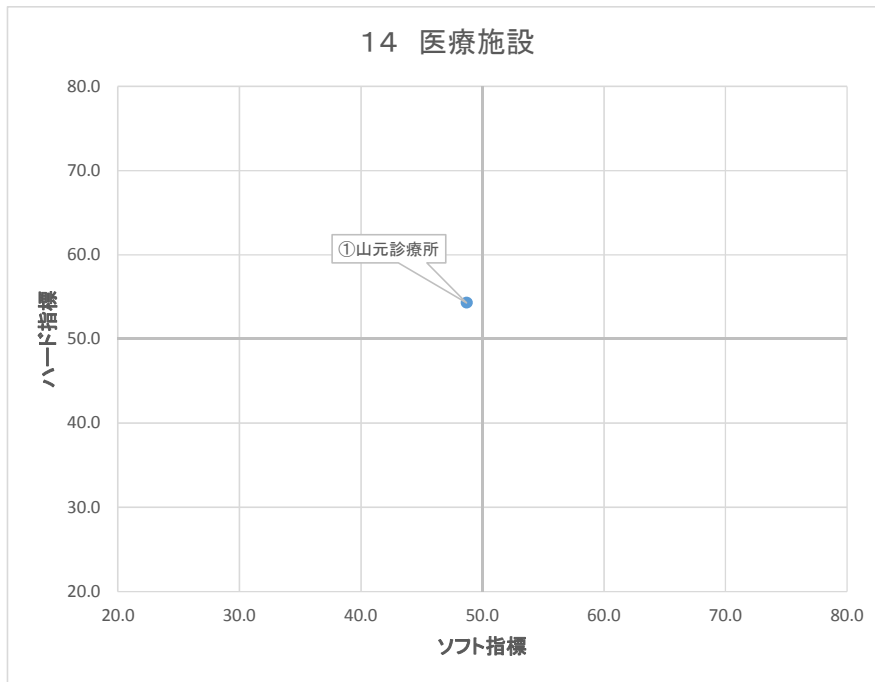
※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
保健センター	○							現状維持

14 医療施設

(1) ポートフォリオ分析

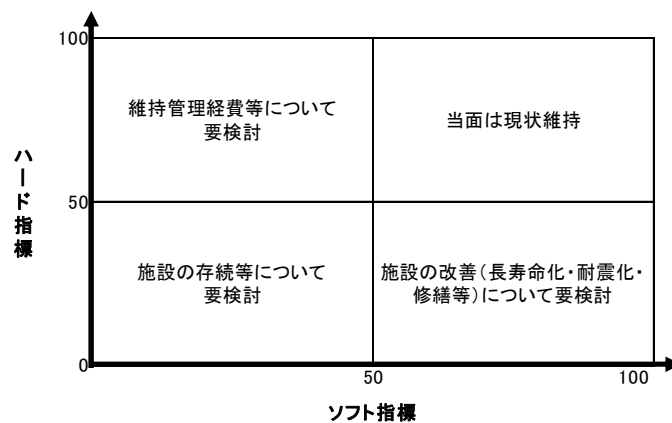


(2) 学区別立地状況

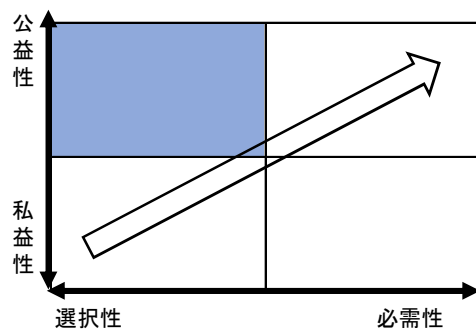
学区	施設番号
上小	
南小	
西一	
宮川	
中川	
旧山元	①

○ハード指標（老朽化度＋耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



医療施設は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

維持管理経費等のコストについて改善の余地がある。

イ 立地のバランス

診療所は市内 1 箇所のみに立地している（旧山元小学区）。

ウ 公共性の評価

診療所は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

人口減少に伴い利用者数が減少しているが、山元地区には交通手段のない高齢者も多い。

オ 評価の総括

個別事由により当面は現状維持とするが、可能な限りコストの削減に努め、計画的な修繕等を実施していく必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
山元診療所	54.3	54.16	

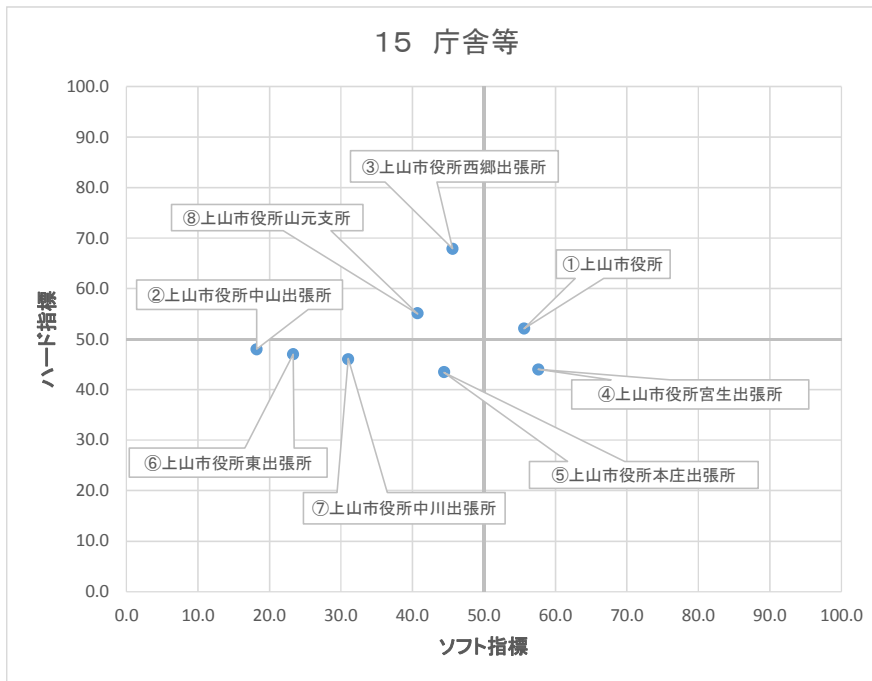
※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
山元診療所	○							現状維持

15 庁舎等

(1) ポートフォリオ分析

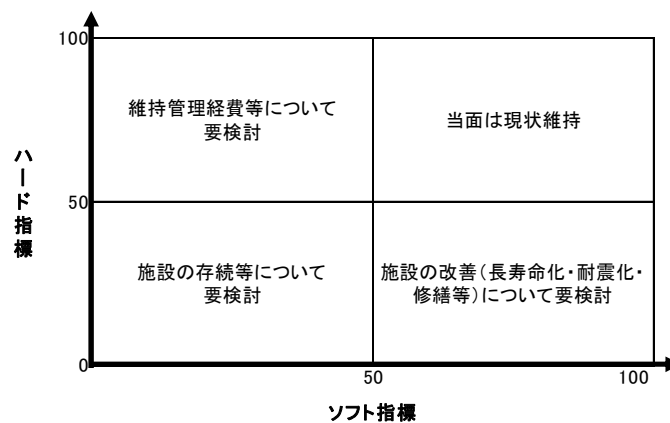


(2) 学区別立地状況

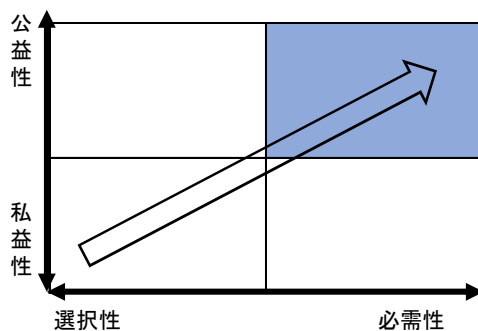
学区	施設番号
上小	
南小	①、②
西一	③
宮川	④、⑤、⑥
中川	⑦
旧山元	⑧

○ハード指標（老朽化度＋耐震性） ○ソフト指標（1㎡当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



庁舎等は、一般的に「公益性・必要性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受け、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

西郷出張所を除き全体的に老朽化が進んでおり、コスト面の改善を図る必要のある施設が多い。

イ 立地のバランス

学区別には、宮川小学区に多く立地している傾向があるが、これは、各地区に出張所が設置されているためである。その他の学区については均等に立地している。

ウ 公共性の評価

庁舎等は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

支所・出張所は地区公民館と複合化されている。

オ 評価の総括

支所・出張所は各地区公民館と複合化されており、耐震化工事が進められているため、長寿命化を図りながら今後の対応を検討していく。

なお、今後の地区公民館の集約化や複合化の方針、人口動態を踏まえた配置の検討を行う必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
上山市役所西郷出張所	67.9	19.87	
上山市役所山元支所	55.1	42.00	
上山市役所	52.1	10,359.72	
上山市役所中山出張所	48.0	18.06	○
上山市役所東出張所	47.0	19.06	○
上山市役所中川出張所	46.0	29.18	○
上山市役所宮生出張所	44.0	23.19	○
上山市役所本庄出張所	43.5	20.70	○

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

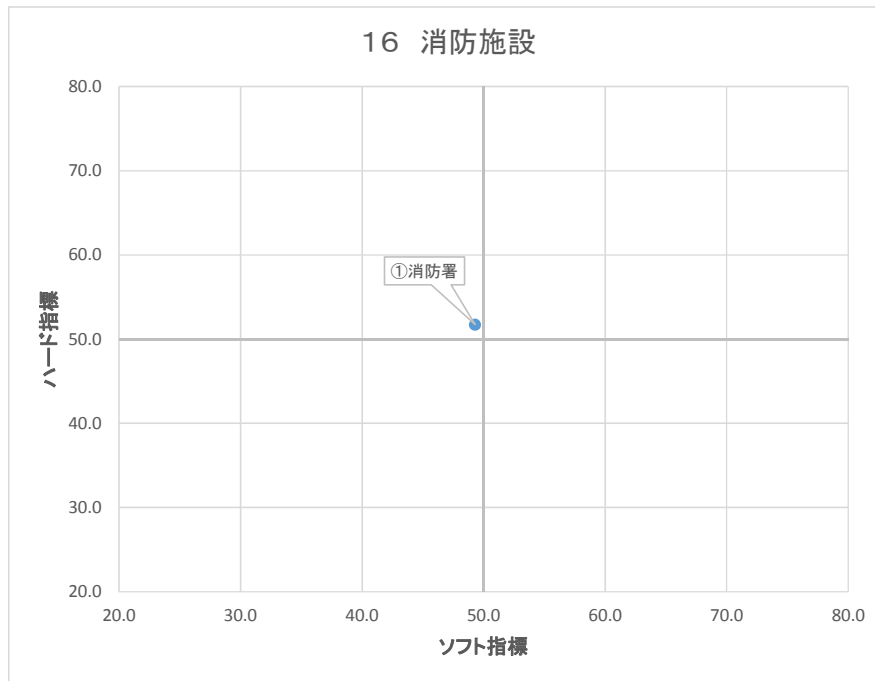
イ 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
上山市役所西郷出張所	○							現状維持
上山市役所山元支所	○							現状維持
上山市役所	○							現状維持
上山市役所中山出張所	○							現状維持
上山市役所東出張所	○							現状維持
上山市役所中川出張所	○							現状維持
上山市役所宮生出張所	○							現状維持
上山市役所本庄出張所		○						現状維持

上山市役所本庄出張所については、耐震化工事を実施していきます。

16 消防施設

(1) ポートフォリオ分析

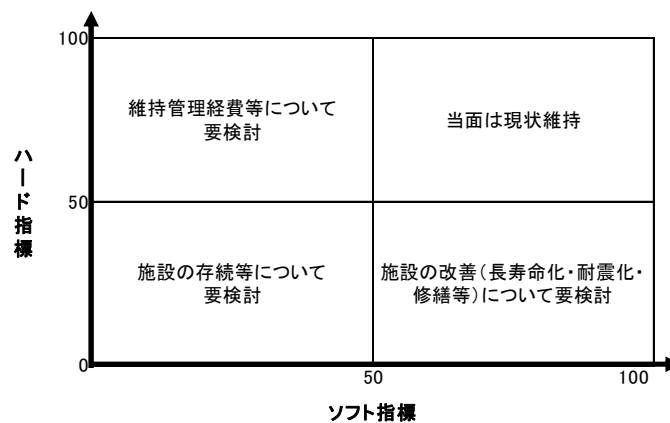


(2) 学区別立地状況

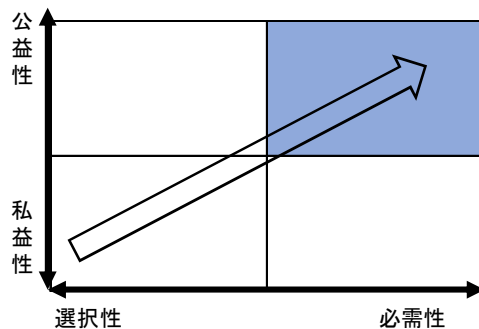
学区	施設番号
上小	
南小	①
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



消防施設は、一般的に「公益性・必要性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受け、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

老朽化が進みつつあるため、近い将来に老朽化対策が求められる。また、維持管理経費等のコストについて改善の余地がある。

イ 立地のバランス

消防署は市内 1 箇所のみ立地している（南小学区）。

ウ 公共性の評価

消防署は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

消防署は市内 1 施設のみである。

オ 評価の総括

消防署は市民の財産・生命を守るため重要な施設であることから、老朽化対策および維持管理費等のコスト削減に努める必要がある。

なお、消防ポンプ庫や警鐘台などのその他の消防施設については、消防団の再編成と併せて検討していく。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
消防署	51.7	1,137.67	

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
消防署	○							長寿命化

消防署については、老朽化が進んでいることから、将来は長寿命化工事を検討していきます。

消防ポンプ庫や警鐘台などの消防施設については、消防団の再編成と併せて令和２年度までに検討していきます。

(１) 今後の方針

ア 令和７年度時点の施設のあり方・方向性

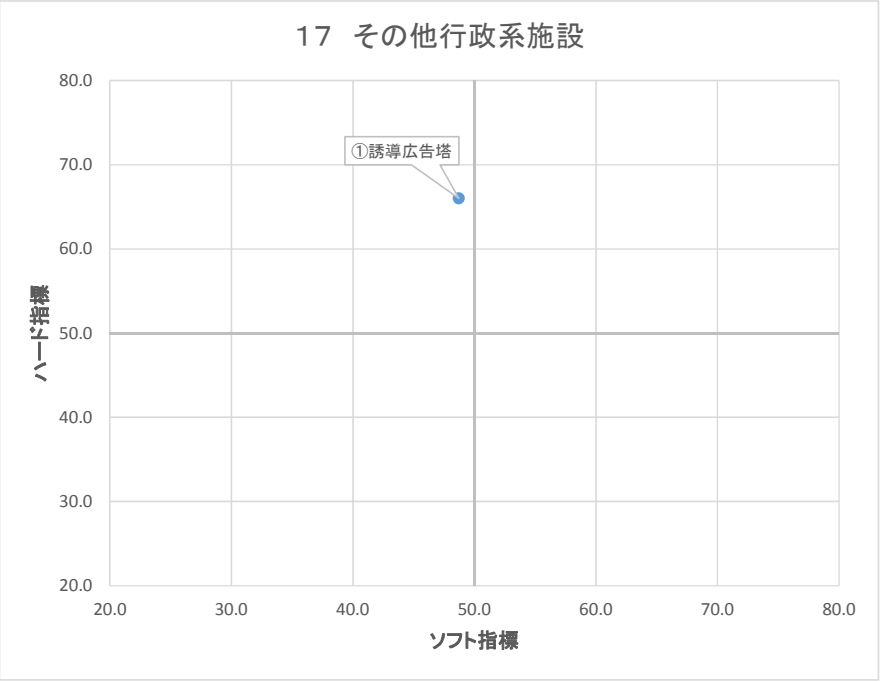
施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和８年度以降の考え方
北部コミュニティ防災センター	○							未定
新丁コミュニティ消防センター	○							未定
十日町コミュニティ消防センター	○							未定
八日町コミュニティ消防センター	○							未定
金瓶消防ポンプ庫（２）								
北町消防ポンプ庫								
久保手消防ポンプ庫	○							未定
新湯消防ポンプ庫								
糸目消防ポンプ庫	○							未定
湯町消防ポンプ庫						○		
川口消防ポンプ庫	○							未定
石崎・河崎消防ポンプ庫								
長清水消防ポンプ庫								
新町消防ポンプ庫	○							未定
中山消防ポンプ庫（２）								
中山消防ポンプ庫（３）								
葉山消防ポンプ庫								
高松消防ポンプ庫								
二日町消防ポンプ庫								
矢来消防ポンプ庫								
中部コミュニティ防災センター	○							未定
上町消防ポンプ庫								
石曽根防災資機材地域備蓄施設								
金生防災資機材地域備蓄施設	○							未定

施 設 名	現状 維持	長寿 命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度 以降の考え方
赤坂消防ポンプ庫			○					
藤吾消防ポンプ庫								
阿弥陀地消防ポンプ庫								
塩崎消防ポンプ庫								
細谷消防ポンプ庫								
小穴消防ポンプ庫								
南部コミュニティ防災セ ンター	○							
関根消防ポンプ庫	○							未定
下生居消防ポンプ庫	○							未定
須田板コミュニティ消防 センター	○							未定
元古屋敷消防ポンプ庫								
相生消防ポンプ庫								
三上消防ポンプ庫								
皆沢消防ポンプ庫								
檜下消防ポンプ庫（新）	○							未定
赤山消防ポンプ庫								
柏木消防ポンプ庫								
牧野消防ポンプ庫						○		
原口消防ポンプ庫								
小笹・久保川消防ポンプ 庫								
大門消防ポンプ庫								
菖蒲消防ポンプ庫								
宮脇消防ポンプ庫								
中生居消防ポンプ庫								
上生居消防ポンプ庫	○							未定
甲石コミュニティ消防セ ンター	○							未定
泉川消防ポンプ庫	○							
権現堂消防ポンプ庫								
蔵王消防ポンプ庫（1）								
蔵王消防ポンプ庫（2）								
仙石消防ポンプ庫	○							未定
蔵王坊平基地局	○							未定

施 設 名	現状 維持	長寿 命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度 以降の考え方
金谷消防ポンプ庫								
高野消防ポンプ庫								
永野消防ポンプ庫						○		
薄沢消防ポンプ庫								
足ノ口消防ポンプ庫	○							未定
小倉消防ポンプ庫								
棚木消防ポンプ庫								
元屋敷消防ポンプ庫	○							未定
須刈田消防ポンプ庫								
狸森消防ポンプ庫								
菅消防ポンプ庫								
前丸森消防ポンプ庫								
中ノ森消防ポンプ庫								
入丸森消防ポンプ庫								
境消防ポンプ庫								

17 その他行政系施設

(1) ポートフォリオ分析

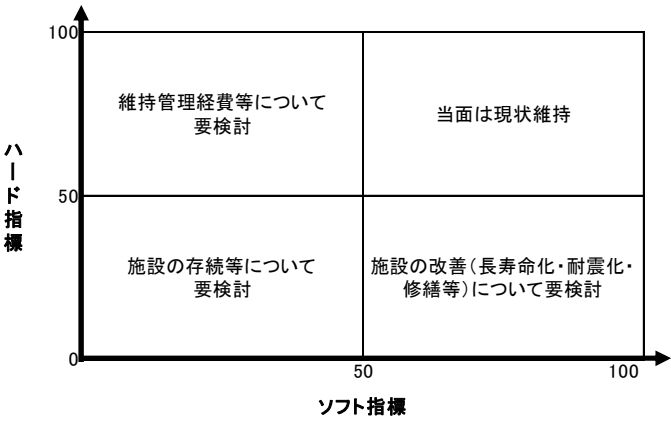


(2) 学区別立地状況

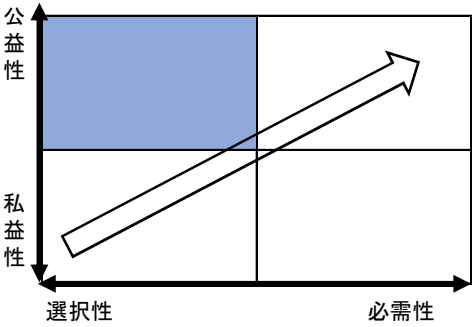
学区	施設番号
上小	①
南小	
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1㎡当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



誘導広告塔は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

維持管理経費等のコストについて改善の余地がある。

イ 立地のバランス

誘導広告塔は市内 1 箇所のみに立地している（上山小学区）。

ウ 公共性の評価

誘導広告塔は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

誘導広告塔は市内 1 施設のみである。

オ 評価の総括

平成 25 年度に設置された施設であることから、当面は現状維持となるが、更なるコスト削減に努める必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
誘導広告塔	66.0	14.47	

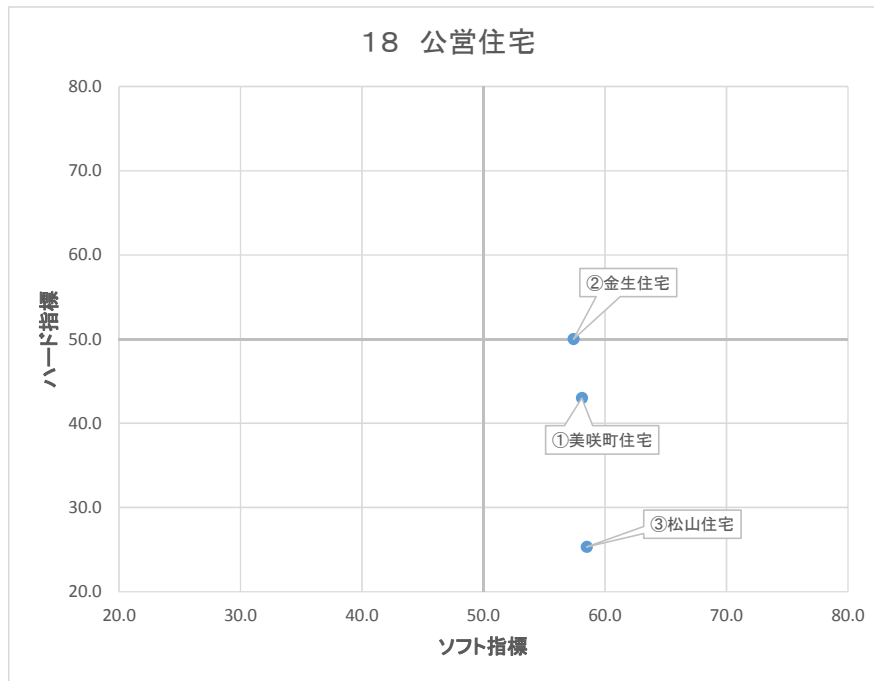
※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
誘導広告塔	○							現状維持

18 公営住宅

(1) ポートフォリオ分析

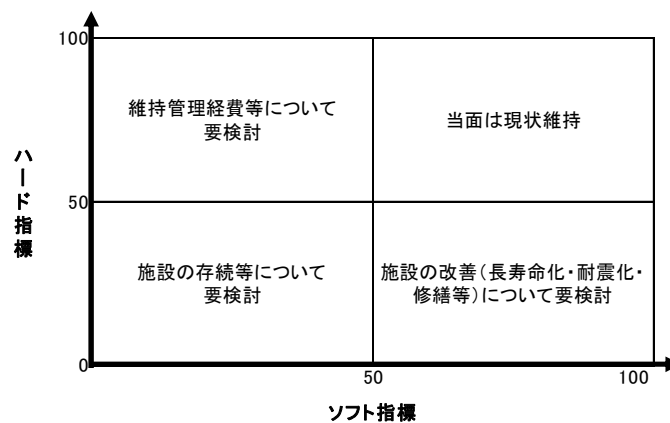


(2) 学区別立地状況

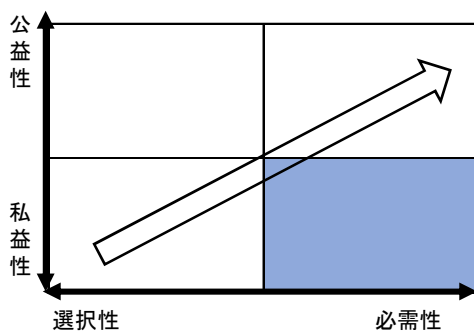
学区	施設番号
上小	①
南小	②、③
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



公営住宅は、一般的に「私益性・必需性」の高い施設に分類されます。利益を受けるのが個人ですが、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

ソフト指標のばらつきは小さいが、ハード指標のばらつきが大きいため、ハード指標により各施設の優劣が評価できる。

イ 立地のバランス

どの公営住宅も市街地エリアに立地している。

ウ 公共性の評価

公営住宅は公益性が低いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

松山住宅は平成30年度に解体する。

オ 評価の総括

「上山市営住宅長寿命化計画」に基づき、各公営住宅の計画的な修繕等を実施する。

建替えにあたっては、人口動態や市民ニーズ等を慎重に見極め、適切な規模で実施し、維持管理経費等のコスト削減に努める必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
金生住宅	50.0	5,325.43	
美咲町住宅	43.0	1,722.37	○
松山住宅	25.3	260.16	○ (H30 廃止)

※廃止候補はハード指標50未満の施設が該当

イ 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
金生住宅	○						○	
美咲町住宅							○	
松山住宅							○	

金生住宅の4階建て(3棟)については、長寿命化工事を実施済みのため当面は現状維持とします。2階建て(9棟)については、老朽化が進んでいる現施設を廃止し、まち中の空き家への移転など民間活用を図ります。

美咲町住宅については、老朽化が進んでいる現施設を廃止し、まち中の空き家への移転など民間活用を図ります。

松山住宅については、平成30年度に廃止しています。

19 公園

公園は敷地内に設置されている「倉庫」や「便所」を対象としますが、「上山市公園長寿命化計画」に基づき今後のあり方を検討していきます。

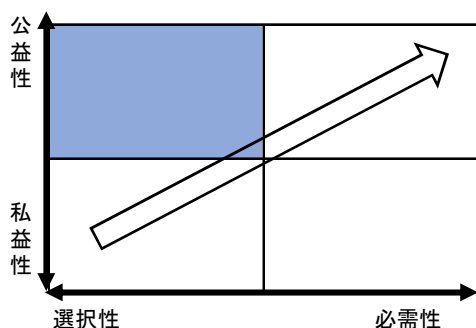
(1) 施設の状況

施設名	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	老朽化度 (%)	稼働率 (%)	延床 面積 (㎡)	再調達 価 額 (千円)	コスト (千円)	減 価 償却費 (千円)	収入 (千円)
①三千刈児童遊園	S54	H25	108.82	—	7.39	2,081	32	0	—
②月岡公園	H24	H39	26.67	—	34.37	14,033	10,709	940	—
③みゆき公園	S56	H08	233.33	—	8.26	1,706	742	0	—
④鷺ヶ袋公園	S50	H21	120.59	—	4.10	960	118	0	—
⑤かえで公園	H22	H53	19.35	—	1.78	3,517	126	116	—
⑥金生公園	S50	H21	120.59	—	4.10	940	104	0	—
⑦さくら公園	H15	H46	41.94	—	4.06	284	441	9	—
⑧市民公園	S61	H32	45.05	—	89.83	35,543	8,663	1,915	—
⑨長清水公園	H08	H46	52.63	—	9.90	4,412	134	119	—
⑩みずき公園	H21	H52	22.58	—	1.78	3,727	121	123	—

(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①、②、③、④
南小	⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

(3) 公共性の評価



公園は、一般的に「公益性・選択性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受けますが、日常生活に必要不可欠とまではいえないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア 立地のバランス

敷地内に倉庫・便所がある公園は、上山小学区・南小学区に集中している。

イ 公共性の評価

公園は公益性が高いエリアに分類される。

ウ 個別事由の勘案

特になし。

エ 評価の総括

「上山市公園長寿命化計画」に基づき、公園内施設の安全確保や長寿命化を計画的に実施する必要がある。

(5) 今後の方針

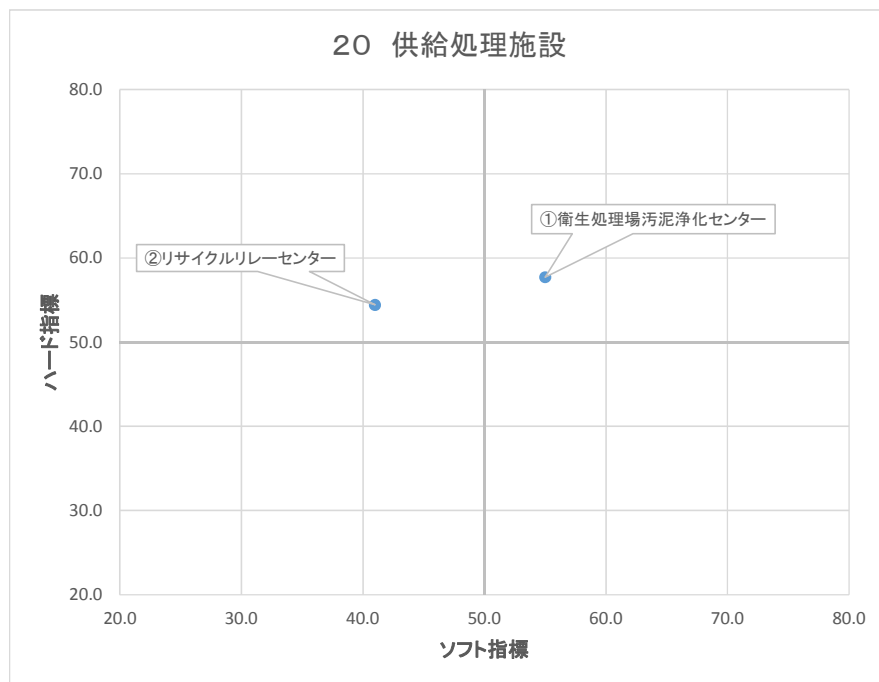
ア 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和8年度以降の考え方
三千刈児童遊園	○							現状維持
月岡公園		○						現状維持
みゆき公園		○						現状維持
鷺ヶ袋公園		○						現状維持
かえで公園		○						現状維持
金生公園		○						現状維持
さくら公園		○						現状維持
市民公園		○						現状維持
長清水公園		○						現状維持
みずき公園		○						現状維持

公園については、「上山市公園施設長寿命化計画」に基づき、公園内施設の長寿命化を計画的に実施していきます。

20 供給処理施設

(1) ポートフォリオ分析

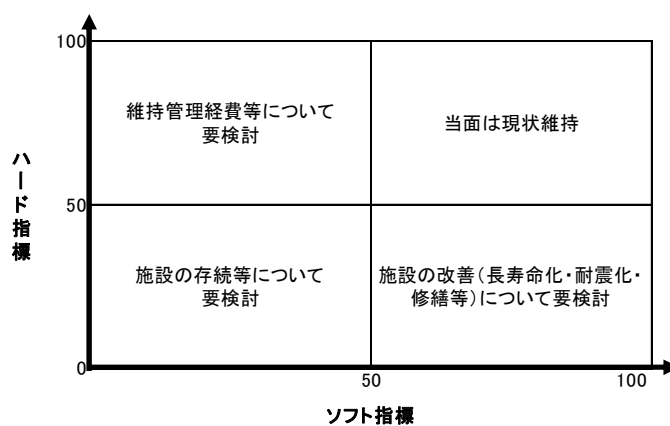


(2) 学区別立地状況

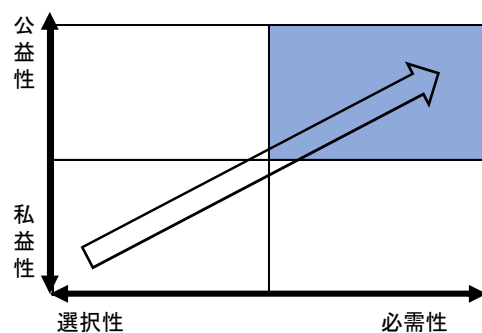
学区	施設番号
上小	
南小	
西一	
宮川	
中川	①、②
旧山元	

○ハード指標（老朽化度+耐震性） ○ソフト指標（1 m²当たりコスト）

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



供給処理施設は、一般的に「公益性・必要性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受け、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

ハード指標のばらつきは小さいが、ソフト指標のばらつきが大きい。

イ 立地のバランス

両施設とも中川小学区に立地している。

ウ 公共性の評価

供給処理施設は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

汚泥浄化センターは本来の汚泥処理施設としては使用されていない。

オ 評価の総括

リサイクルリレーセンターは現状維持とするが、計画的な修繕等を実施し長寿命化を図る。なお、衛生処理場汚泥浄化センターについては、今後の施設のあり方について検討の必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
衛生処理場汚泥浄化センター	57.7	674.68	
リサイクルリレーセンター	54.4	499.84	

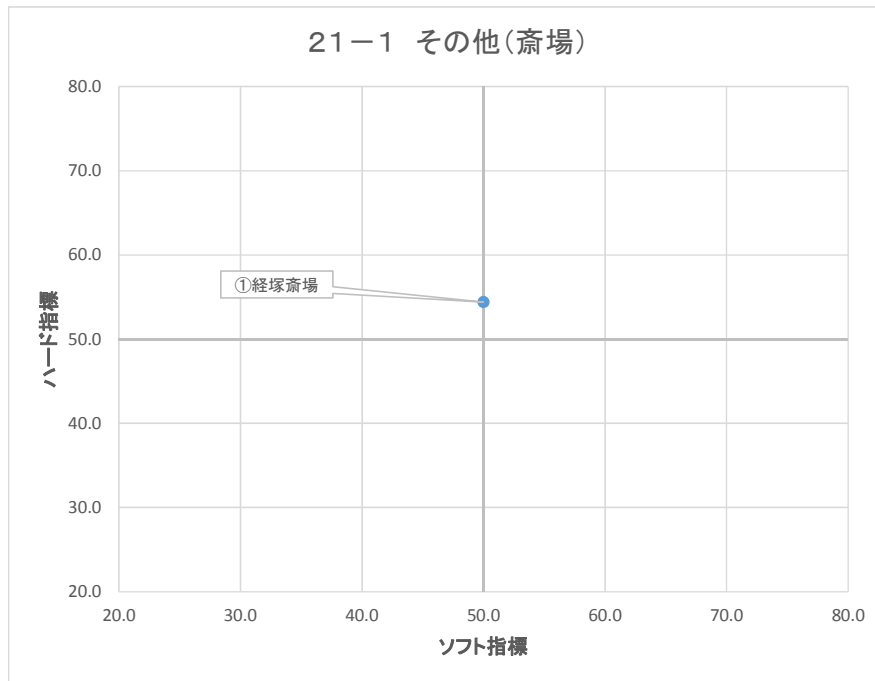
※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
衛生処理場汚泥浄化センター	○							現状維持
リサイクルリレーセンター	○							長寿命化

21-1 その他(斎場)

(1) ポートフォリオ分析



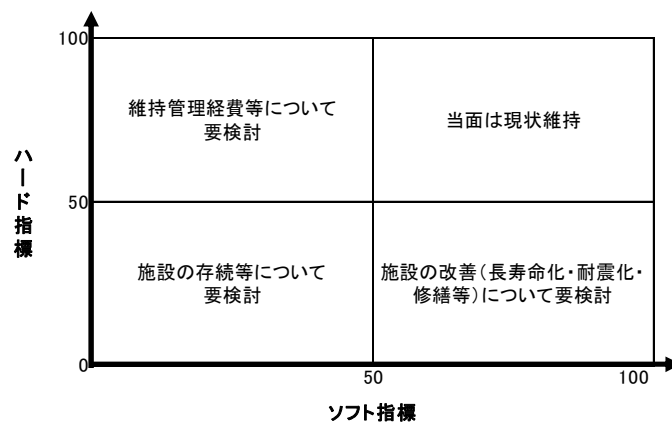
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①
南小	
西一	
宮川	
中川	
旧山元	

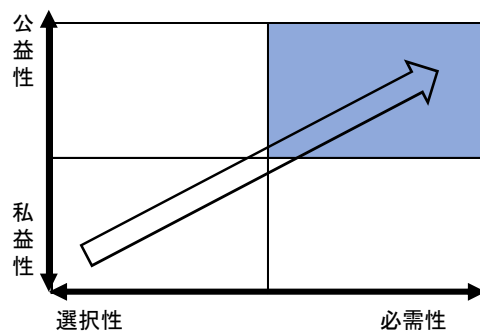
○ハード指標 (老朽化度+耐震性)

○ソフト指標 (1 m²当たりコスト)

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



斎場は、一般的に「公益性・必要性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受け、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

斎場は平均的な偏差値を持つ施設であるが、今後は老朽化対策やコスト削減などの検討が必要である。

イ 立地のバランス

斎場は市内 1 箇所のみに立地している（上小学区）。

ウ 公共性の評価

斎場は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

斎場は市民生活に必要不可欠な施設である。

オ 評価の総括

斎場は市民生活に必要不可欠な施設であることから当面は現状維持とするが、市民ニーズを考慮した対応や広域連携での対応も含めて検討する必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
経塚斎場	54.3	547.72	

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

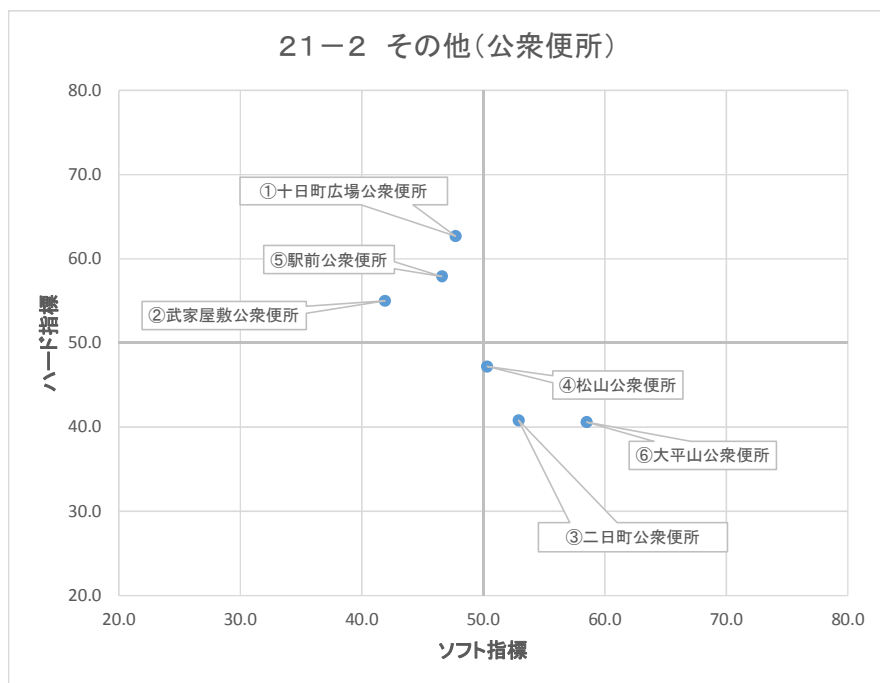
イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
経塚斎場		○						長寿命化・建替

斎場については、老朽化が進んでおり、長期修繕計画により長寿命化を図りながら施設を維持していきますが、長期的には建替を含めて検討していきます。

21-2 その他(公衆便所)

(1) ポートフォリオ分析



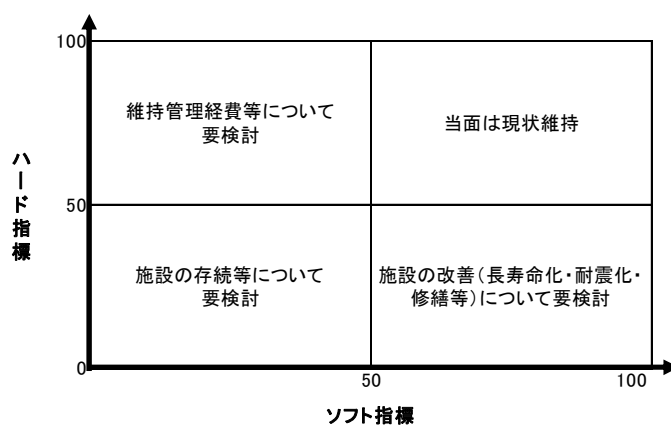
(2) 学区別立地状況

学区	施設番号
上小	①、②
南小	③、④、⑤
西一	
宮川	
中川	
旧山元	⑥

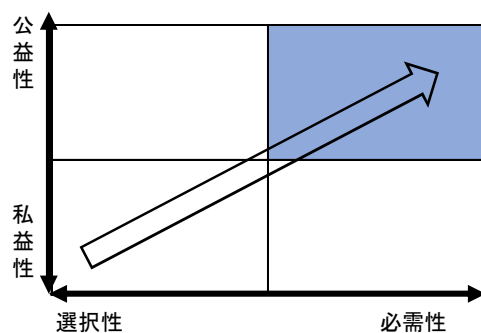
○ハード指標 (老朽化度+耐震性)

○ソフト指標 (1 m²当たりコスト)

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



公衆便所は、一般的に「公益性・必需性」の高い施設に分類されます。より多くの人たちが利益を受け、日常生活に欠くことができないサービスが含まれるエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

比較的新しい施設に比べ古い施設はコストが小さい。

イ 立地のバランス

上山小学区、南小学区を中心に立地している。

ウ 公共性の評価

公衆便所は公益性が高いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

公衆便所は来訪者にとって必要不可欠な施設である。

オ 評価の総括

公衆便所は来訪者にとって必要不可欠な施設であることから当面は現状維持とするが、利用状況によって廃止を検討する必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
十日町広場公衆便所	62.7	37.26	
駅前公衆便所	57.9	6.25	
武家屋敷公衆便所	55.0	8.62	
松山公衆便所	47.2	12.42	○
二日町公衆便所	40.8	19.53	○
大平山公衆便所	40.6	2.76	○ (H30 廃止)

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
十日町広場公衆便所	○							現状維持
駅前公衆便所	○							長寿命化
武家屋敷公衆便所	○							現状維持
松山公衆便所	○							現状維持
二日町公衆便所	○							移譲・廃止
大平山公衆便所							○	

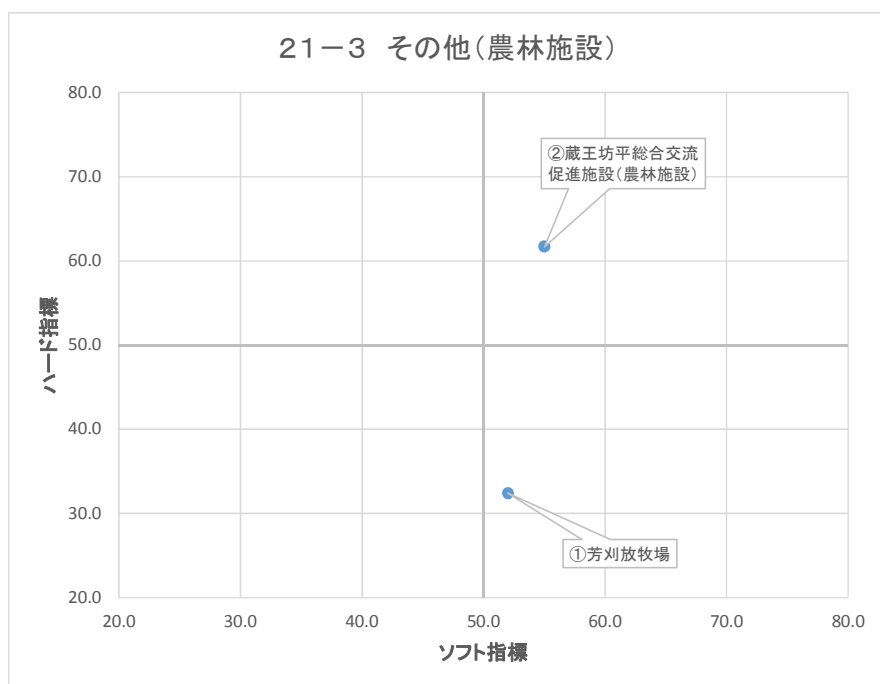
駅前公衆便所については、必要に応じて長寿命化を図ります。

二日町公衆便所については、施設の老朽化の状況により、移譲または廃止を検討していきます。

大平山公衆便所は、平成 30 年度に廃止しています。

21-3 その他(農林施設)

(1) ポートフォリオ分析

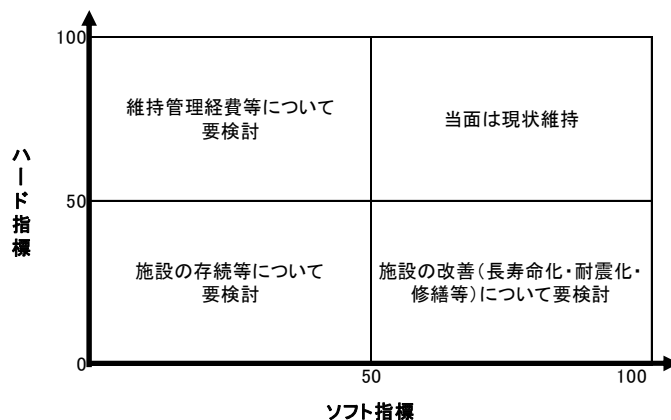


(2) 学区別立地状況

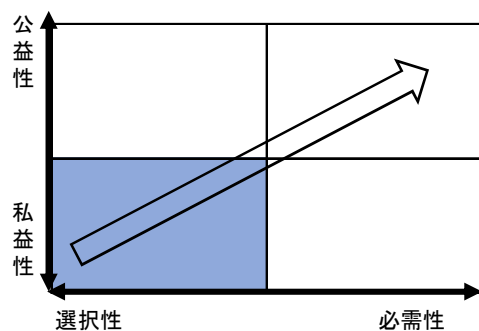
学区	施設番号
上小	
南小	
西一	
宮川	
中川	①、②
旧山元	

○ハード指標 (老朽化度+耐震性) ○ソフト指標 (1 m²当たりコスト)

【各象限における判断基準】



(3) 公共性の評価



当該農林施設は、「私益性・選択性」の高い施設に分類されます。利益を受けるのが個人で、民間でも類似サービスが提供されやすいエリアです。

(4) 評価の概要

ア ポートフォリオ分析

芳刈放牧場内にある施設は老朽化が進んでいる。

イ 立地のバランス

中川小学区にのみ立地している。

ウ 公共性の評価

当該農林施設は公益性が低いエリアに分類される。

エ 個別事由の勘案

特になし。

オ 評価の総括

芳刈放牧場については、施設の老朽化が進んでいるため、公営牧場としてのあり方を含め検討する必要がある。

(5) 今後の方針

ア ハード指標による指針

施設名	ハード指標	延床面積	廃止候補
蔵王坊平総合交流促進施設（農林施設）	61.7	1,530.27	
芳刈放牧場	32.4	238.20	○

※廃止候補はハード指標 50 未満の施設が該当

イ 令和 7 年度時点の施設のあり方・方向性

施設名	現状維持	長寿命化	移譲	集約	複合	建替	廃止	令和 8 年度以降の考え方
蔵王坊平総合交流促進施設（農林施設）	○							現状維持
芳刈放牧場	○							現状維持

芳刈放牧場については、利用状況やコスト、使用料等を勘案しながら公営牧場としての必要性を含め検討していきます。

21-4 普通財産

本来的には売却、貸付等を行うべきものとして下記の施設が該当します。

(1) 施設の状況

施設名	主要建物 建築年度	耐用年数 到来年度	老朽化度 (%)	利用 状況	延床 面積 (㎡)	再調達 価 額 (千円)	コスト (千円)	減 価 償却費 (千円)	収入 (千円)
元上山競馬場（内厩舎）	H11	H28	100.0	貸付	391.27	51,311	13	2,873	-
元あさひ保育園	S49	H08	177.7	貸付	841.69	124,014	34	452	421
元金瓶児童館	S49	H08	190.9	貸付	277.36	37,924	204	0	-
元消防署北出張所	S50	H37	82.0	貸付	257.50	71,729	2	1,434	300
元中山小学校	H08	H55	43.9	貸付	2,430.34	596,842	15	13,267	-
元西郷第二小学校	S42	H26	117.4	-	2,031.00	684,645	1,510	0	24
元西郷第二小学校竜沢分校	S31	S53	272.1	-	373.00	141,357	20	0	-
元勤労青少年ホーム	S44	H31	112.6	-	768.12	355,776	11,021	4,522	-
元西郷児童館	S44	H03	213.6	-	248.40	65,579	181	0	-
元東児童館	S48	H07	195.5	貸付	321.45	52,062	184	0	-
元宮生児童館	S43	H02	218.2	貸付	220.25	60,910	8	0	401
元宮生小学校	S30	S52	174.1	-	2,531.68	975,443	1,888	2,614	420
元本庄小学校	S51	H35	75.3	-	2,633.00	541,114	1,991	13,075	-
元本庄小学校赤山分校	S30	S52	277.3	貸付	665.00	273,719	38	0	-
元中川小学校蔵王分校	S24	S46	297.1	貸付	232.00	102,963	12	0	-
元高野荘	S51	H10	181.8	-	205.92	41,550	4	0	-
元衛生プラント	S37	H12	161.3	-	661.82	717,444	67	39	-
元クリーンセンター	S49	H36	85.2	-	924.72	259,082	67	5,155	-
元山元小学校小白府分校	S14	S36	332.1	-	109.00	14,348	2	0	-
元山元へき地保健福祉館	S47	H08	180.0	貸付	211.00	-	11	0	-
元山元地区公民館	S47	H22	115.4	貸付	390.00	-	6	0	110
元場外勝馬投票券発売 所・飯館	H12	H50	42.4	貸付	2,401.35	733,495	21	19,912	17,110

(2) 今後の方針

ア 令和7年度時点の施設のあり方・方向性

施 設 名	移譲	貸付	左記 以外	令和8年度 以降の考え方	備 考
元上山競馬場（内厩舎）		○		貸付	
元あさひ保育園		○		貸付	
元金瓶児童館	○				
元消防署北出張所		○		貸付	
元中山小学校		○		貸付	
元西郷第二小学校	○		○		移譲：校舎 左記以外：体育館
元西郷第二小学校竜沢分校			○		
元勤労青少年ホーム			○		
元西郷児童館			○		
元東児童館		○		廃止	
元宮生児童館		○		廃止	
元宮生小学校	○		○		移譲：校舎 左記以外：体育館
元本庄小学校	○				
元本庄小学校赤山分校		○			
元中川小学校蔵王分校		○		移譲	
元高野荘			○		
元衛生プラント			○		
元クリーンセンター			○		
元山元小学校小白府分校			○		
元山元へき地保健福祉館		○			
元山元地区公民館		○		貸付	
元場外勝馬投票券発売所・飯館			○		

普通財産については、令和元年度に定める新たな運用ルールに基づき、跡地の有効利用を検討しながら売却や貸付、解体などを推進していきます。

上山市公共施設等総合管理計画実施計画

令和元年 6 月

上山市 財政課

URL : <http://www.city.kaminoyama.yamagata.jp/>

〒999-3192

山形県上山市河崎一丁目 1 番 10 号

TEL : 023-672-1111 (代)